

○文部科学省告示第五十九号

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第二条第一項に規定する標準化対象事務を定める政令に規定するデジタル庁令・総務省令で定める事務を定める命令第八条各号に規定する事務（同条第一号に規定する援助に関する事務を除く。）の処理に係るシステムに必要とされる機能等に関する標準化基準を定める省令（令和八年文部科学省令第十号）第三条及び第四条の規定に基づき、同令第三条の文部科学大臣が定める機能要件の標準の細目並びに実装区分及び適合基準日並びに同令第四条の文部科学大臣が定める帳票要件の標準の様式及び細目並びに実装区分及び適合基準日を次のように定める。

令和八年三月二十五日

文部科学大臣 松本 洋平

（機能要件の標準の細目並びに実装区分及び適合基準日）

第一条 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第二条第一項に規定する標準化対象事務を定める政令に規定するデジタル庁令・総務省令で定める事務を定める命令第八条各号に規定する事務（同条第一号に規定する援助に関する事務を除く。）の処理に係るシステムに必要とされる機能等に関する標準化基準を定める省令（以下「省令」という。）第三条の文部科学大臣が定める機能要件の標準の細目並びに実装区分及び適合基準日は、別表第一のとおりとする。

（帳票要件の標準の様式及び細目並びに実装区分及び適合基準日）

第二条 省令第四条の文部科学大臣が定める帳票要件の標準の様式は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるとおりとする。

- 一 省令第四条第一号に掲げる学齢簿記載事項異動通知書 第一号様式
- 二 省令第四条第二号に掲げる転入学通知書 第二号様式
- 三 省令第四条第三号に掲げる就学義務猶予免除通知書 第三号様式
- 四 省令第四条第四号に掲げる就学校変更申請書 第四号様式
- 五 省令第四条第五号に掲げる就学校変更許可通知書 第五号様式
- 六 省令第四条第六号に掲げる区域外就学申請書 第六号様式
- 七 省令第四条第七号に掲げる区域外就学協議書 第七号様式
- 八 省令第四条第八号に掲げる区域外就学承諾書 第八号様式
- 九 省令第四条第九号に掲げる区域外就学許可通知書 第九号様式
- 十 省令第四条第十号に掲げる新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書 第十号様式
- 十一 省令第四条第十一号に掲げる入学予定通知書 第十一号様式
- 十二 省令第四条第十二号に掲げる学校選択制案内書 第十二号様式
- 十三 省令第四条第十三号に掲げる学校選択制調査書（小学校） 第十三号様式

十四 省令第四条第十四号に掲げる学校選択制調査書（中学校） 第十四号様式
十五 省令第四条第十五号に掲げる健康診断通知書（A四判） 第十五号様式
十六 省令第四条第十六号に掲げる健康診断通知書（葉書） 第十六号様式
十七 省令第四条第十七号に掲げる健康診断票 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第一号様式

十八 省令第四条第十八号に掲げる健康診断予備調査票 第十七号様式

十九 省令第四条第十九号に掲げる健康診断結果通知書 第十八号様式

二十 省令第四条第二十号に掲げる小学校入学通知書（A四判） 第十九号様式

二十一 省令第四条第二十一号に掲げる小学校入学通知書（葉書） 第二十号様式

二十二 省令第四条第二十二号に掲げる中学校入学通知書（A四判） 第二十一号様式

二十三 省令第四条第二十三号に掲げる中学校入学通知書（葉書） 第二十二号様式

二十四 省令第四条第二十四号に掲げる就学校変更満了通知書 第二十三号様式

二十五 省令第四条第二十五号に掲げる区域外就学満了通知書 第二十四号様式

二十六 省令第四条第二十六号に掲げる外国人出入国照会書 第二十五号様式

二十七 省令第四条第二十七号に掲げる外国籍児童への就学案内 第二十六号様式

2 省令第四条の文部科学大臣が定める帳票要件の標準の細目並びに実装区分及び適合基準日は、別

表第二及び別表第三並びに次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める別表のとおりとする。

一 省令第四条第一号に掲げる学齢簿記載事項異動通知書 別表第四

二 省令第四条第二号に掲げる転入学通知書 別表第五

三 省令第四条第三号に掲げる就学義務猶予免除通知書 別表第六

四 省令第四条第四号に掲げる就学校変更申請書 別表第七

五 省令第四条第五号に掲げる就学校変更許可通知書及び同条第九号に掲げる区域外就学許可通知書

書 別表第八

六 省令第四条第六号に掲げる区域外就学申請書 別表第九

七 省令第四条第七号に掲げる区域外就学協議書 別表第十

八 省令第四条第八号に掲げる区域外就学承諾書 別表第十一

九 省令第四条第十号に掲げる新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書 別表第十二

十 省令第四条第十一号に掲げる入学予定通知書 別表第十三

十一 省令第四条第十二号に掲げる学校選択制案内書 別表第十四

十二 省令第四条第十三号に掲げる学校選択制調査書（小学校）及び同条第十四号に掲げる学校選

択制調査書（中学校） 別表第十五

十三 省令第四条第十五号に掲げる健康診断通知書（A四判）及び同条第十六号に掲げる健康診断

通知書（葉書） 別表第十六

十四 省令第四条第十七号に掲げる健康診断票 別表第十七

十五 省令第四条第十八号に掲げる健康診断予備調査票 別表第十八

十六 省令第四条第十九号に掲げる健康診断結果通知書 別表第十九

十七 省令第四条第二十号に掲げる小学校入学通知書（A四判）及び同条第二十一号に掲げる小学

校入学通知書（葉書）並びに同条第二十二号に掲げる中学校入学通知書（A四判）及び同条第二

十三号に掲げる中学校入学通知書（葉書） 別表第二十

十八 省令第四条第二十四号に掲げる就学校変更満了通知書及び同条第二十五号に掲げる区域外就

学満了通知書 別表第二十一

十九 省令第四条第二十六号に掲げる外国人出入国照会書 別表第二十二

3 前項各号に定める別表の細目は別表第二十三のとおりとする。

附 則

（施行期日）

第一条 この告示は、令和八年四月一日から施行する。

（帳票要件の標準に係る経過措置）

第二条 令和九年四月一日までの間、第二条第二項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる帳票要件

の標準の細目については、それぞれ当該各号に定めるものをもって代えることができる。

- 一 別表第四 附則別表第一
- 二 別表第五 附則別表第二
- 三 別表第六 附則別表第三
- 四 別表第七 附則別表第四
- 五 別表第八 附則別表第五
- 六 別表第九 附則別表第六
- 七 別表第十 附則別表第七
- 八 別表第十一 附則別表第八
- 九 別表第十三 附則別表第九
- 十 別表第十四 附則別表第十
- 十一 別表第十五 附則別表第十一
- 十二 別表第二十 附則別表第十二
- 十三 別表第二十一 附則別表第十三

別表第 1 (第 1 条関係)

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170001	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	児童生徒の情報について、以下の項目を管理（※）又は住民記録システムから取得できること。 ※「管理」とは、データの設定・保持・修正ができることをいう。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・児童生徒氏名（外国籍を有する場合は外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名をそれぞれ管理） ・児童生徒の現住所 ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・児童生徒宛名番号 （個人を識別するための番号、名寄せを行う際に必要） ・児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ）（外国籍を有する場合は外国人氏名のフリガナ及び通称名のフリガナをそれぞれ管理） ・児童生徒通称名 ・児童生徒通称名のフリガナ ・児童生徒国籍 ・児童生徒郵便番号	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170002	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	外国籍を有する児童生徒を管理でき、日本国籍を有する児童生徒と同様に、新入学処理及び異動処理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170003	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	また、外国籍を有する児童生徒の外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170004	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	外国籍を有する児童生徒の氏名文字数に対応すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170005	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	児童生徒の情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 ・児童生徒前住所 ・児童の住所コード ・児童の行政区（地域、地区、自治会）コード ・世帯番号 ・世帯主宛名番号（個人を識別するための番号） ・世帯主氏名 ・世帯主氏名の振り仮名（フリガナ） ・居所（現住所と違う場合に使用） ・居所不明状況 ・居所不明年月日 ※居所不明状況、居所不明年月日は、1年以上居所不明者である場合	標準オプション機能	標準オプション機能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170006	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.1 児童生徒データの管理	児童生徒データの管理	児童生徒の情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 ・児童生徒電話番号又は携帯番号 ・児童生徒メールアドレス ・児童生徒年齢	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170459	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.2 保護者データの管理	保護者データの管理	保護者に関する情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・保護者氏名（外国籍を有する場合は外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名をそれぞれ管理） ・保護者の現住所 ・保護者と児童生徒との関係（児童生徒に対する保護者の続柄を管理） 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・保護者宛名番号（個人を識別するための番号） ・保護者氏名の振り仮名（フリガナ）（外国籍を有する場合は外国人氏名フリガナ及び通称名のフリガナをそれぞれ管理） ・保護者国籍 ・保護者郵便番号 ・保護者電話番号又は携帯番号 ・保護者送付先情報 ・監護者情報	実装必須機能	実装必須機能	令和9年4月1日
0170460	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.2 保護者データの管理	保護者データの管理	離婚後の共同親権者に関する情報を管理するため、0170459の項の保護者情報とは別に、追加で保護者情報を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和9年4月1日
0170008	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.2 保護者データの管理	保護者データの管理	外国籍を有する保護者を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170009	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.2 保護者データの管理	保護者データの管理	また、外国籍を有する保護者の外国人氏名英字、外国人氏名漢字及び通称名を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170010	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.2 保護者データの管理	保護者データの管理	外国籍を有する保護者の氏名文字数に対応すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170011	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.2 保 護者デー タの管理	保護者デー タの管理	保護者に関する情報について、以下の項目を管理又は住民記録システムから取得できること。 ・保護者のメールアドレス ・保護者通称名 ・保護者通称名のフリガナ ・保護者の住所コード ・保護者の行政区（地域、地区、自治会）コード ・保護者性別 ・身元引受人宛名番号（個人を識別するための番号） ・身元引受人氏名 ・身元引受人振り仮名（フリガナ） ・身元引受人住所 ・身元引受人電話番号又は携帯番号 ・身元引受人児童生徒との関係（児童生徒に対する身元引受人の続柄を管理） ・身元引受人のメールアドレス	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170012	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.2 保 護者デー タの管理	保護者デー タの管理	保護者に関する情報について、以下の項目を管理できること。 ・預け先名（保育先名） ・預け先住所（保育先住所）	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170013	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ※就学校名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・指定小学校区（住所から判別されるものを管理） ・指定中学校区（住所から判別されるものを管理） ・就学指定校名（学校区から判別されるものを管理） ・退学年月日 ※就学指定校名、退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 ・学級区分（通常の学級、特別支援学級） ・学年 ※義務教育学校の場合は、中学校1～3年相当学年を7～9と表示できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170014	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	就学前児童の仮データの登録ができ、管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170015	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	また、新中学校1年生についての仮データの登録ができ、対象児童が小学校6年生時に仮データとの共存を可能とすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170016	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・就学校変更事由 ・就学校変更申請年月日 ・就学校変更許可年月日 ・就学校変更開始年月日 ・就学校変更終了年月日 ※義務教育学校の場合は、小学校1年相当から中学校3年相当まで最大9年間で設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170017	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・原級留置に関する事項 ・不就学情報 ・副籍校名（特別支援学校就学時のみ使用） ・転入前学校	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170018	1 管理項目	1.1 学齢 簿関連 データ	1.1.3 市 町村内学 校関連 データの 管理	市町村内学 校関連デー タの管理	市町村内学校関連情報について、以下の項目を管理できること。 ・就学援助有無 ・転出先学校 ・クラス ・出席番号 ・学籍番号 ・就学校変更区分 ・就学校変更不許可理由 ・就学校変更開始学年 ・希望就学校名（学校選択制導入自治体のみ使用、選択希望校を管理） ・希望就学校受付年月日（学校選択制導入自治体のみ使用）	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170019	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.4 区域外学校関連データの管理	区域外学校関連データの管理	区域外学校情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・設置者名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ・学校退学年月日 ※就学校名、設置者名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日、学校退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・区域外就学事由 ・区域外就学申請年月日 ・区域外就学許可年月日 ・区域外就学開始年月日 ・区域外就学終了年月日	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170020	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.4 区域外学校関連データの管理	区域外学校関連データの管理	区域外学校情報について、以下の項目を管理すること。 ・区域外就学区分 ・区域外就学不許可理由 ・区域外就学開始学年	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170021	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.5 特別支援学校関連データの管理	特別支援学校関連データの管理	特別支援学校情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学校名 ・部名（特別支援学校就学時のみ使用） ・設置者名 ・学校入学年月日 ・学校編入学年月日 ・学校転学年月日 ・学校卒業年月日 ・学校退学年月日 ※就学校名、設置者名、学校入学年月日、学校編入学年月日、学校転学年月日、学校卒業年月日、学校退学年月日は、小学校・中学校等の記載欄が必要。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170022	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.5 特別支援学校関連データの管理	特別支援学校関連データの管理	特別支援学校情報について、以下の項目を管理すること。 ・障がい区分	標準オプション機能	標準オプション機能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170023	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.6 督促関連データの管理	督促関連データの管理	督促情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・校長からの通知受理年月日 ・就学督促年月日	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170024	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.6 督促関連データの管理	督促関連データの管理	督促情報について、以下の項目を管理すること。 ・就学督促事由	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170025	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.7 猶予・免除関連データの管理	猶予・免除関連データの管理	猶予・免除に関する情報について、以下の項目を管理すること。当管理項目は、0170017の項の不就学情報のうち、猶予・免除に関する情報を管理するものとする。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・就学義務猶予年月日 ・就学義務猶予事由 ・就学義務猶予開始年月日 ・就学義務猶予終了年月日 ・就学義務猶予復学年月日 ・就学義務免除年月日 ・就学義務免除事由 ・就学義務免除開始年月日 ・就学義務免除終了年月日 ・就学義務免除復学年月日 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・就学義務が猶予・免除されていた年数	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170026	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.8 学齢簿変更関連データの管理	学齢簿変更関連データの管理	学齢簿の変更が発生する場合において、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・学齢簿変更届出年月日 ・学齢簿変更年月日 ・学齢簿変更事由	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170027	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.8 学齢簿変更関連データの管理	学齢簿変更関連データの管理	学齢簿の変更が発生する場合において、以下の項目を管理すること。 ・学齢簿消除事由 ・学齢簿消除年月日	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170028	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.9 支援措置対象者関連データの管理	支援措置対象者関連データの管理	D V／ストーカー等の支援措置対象者情報について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・支援措置対象者情報	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170029	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.9 支援措置対象者関連データの管理	支援措置対象者関連データの管理	住民記録情報の内容を参照し把握でき、就学事務独自の該当者の管理が行えることとする。また、DV／ストーカー等の支援措置対象者情報を画面照会した場合は、該当者（世帯員を含め）である旨に気づけること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170030	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.10 備考関連データの管理	備考関連データの管理	備考について、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載の項目】 ・備考	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170031	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.10 備考関連データの管理	備考関連データの管理	備考に登録された内容は照会でき、新年度に切り替わっても内容は引き継がれること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170032	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	メモについて、以下の項目を管理すること。 【学校教育法施行規則第30条に記載以外のその他項目】 ・メモ	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170033	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	メモは個人を単位とし、記載事項を限定しないメモ入力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170034	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	メモを入力した者のユーザID及び日時が記録されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170035	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	メモ入力されたものについては、通知書や学齢簿等の外部向け帳票に出力されないこと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170036	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	また、メモ登録されている対象者を画面照会した場合は、メモがある旨に気づけること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170037	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.11 メモ関連データの管理	メモ関連データの管理	メモの修正・削除について履歴管理されること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170038	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.12 その他のデータの管理	その他のデータの管理	その他の情報として、以下の項目を管理すること。 ・就学校区分	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170039	1 管理項目	1.1 学齢簿関連データ	1.1.12 その他のデータの管理	その他のデータの管理	その他の情報として、以下の項目を管理すること。 ・任意の項目	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170040	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.1 データ変更記録の管理	データ変更記録の管理	中項目1.1に規定する項目に係る変更記録は、以下の項目を管理すること。 ・異動者 ・異動日 ・処理日 ・届出日 ・入力場所 ・入力端末	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170041	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.1 データ変更記録の管理	データ変更記録の管理	また、変更したデータ自体については、以下のとおり、時点ごとに全項目の履歴データを持つ方式により管理すること。 ・学齢簿に記載する各項目を1列とし、全項目を1行で保持する。 ・データキーは、児童生徒宛名番号と履歴番号でユニークとする。履歴番号は1からの単純連番とする。 ・履歴は、データキーの履歴番号をカウントアップし、項目内容の変更有無に係わらず、全項目の内容を保持する。 ・履歴番号が最大のデータを1件セレクトすることで、その個人の直近データの全項目を取得する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170042	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.1 データ変更記録の管理	データ変更記録の管理	変更があった学齢簿の内容は、取り消し線による記載ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170043	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.2 入力場所・入力端末	入力場所・入力端末	システムログや通知書発行管理に使用するため、就学事務システム(学齢簿編製等)を使用する場所として、本庁、支所、出張所、就学事務システム(学齢簿編製等)利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170044	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.2 入力場所・入力端末	入力場所・入力端末	指定都市においては、行政区（総合区を設置している場合は総合区。以下この表において同じ。）（区役所）を管理できること。	実装必須機能	-	令和8年4月1日
0170045	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.3 学齢簿情報の削除	学齢簿情報の削除	システムで削除した学齢簿データの保存（システムから削除する場合の磁気ディスク等への保存）ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170046	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.4 公印管理	公印管理	公印管理（教育長及び職務代理者等の公印が管理できる）ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170047	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.5 認証者	認証者	通知書等の認証者は、教育長及び職務代理者等について、職名・氏名の管理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170048	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.5 認証者	認証者	また、期間等事前に登録した条件によって、自動的に切り替わることができるよう職務代理者期間の管理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170049	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.6 通知書発行履歴の管理	通知書発行履歴の管理	中項目1.1に規定する通知書の発行履歴は、以下の項目を管理すること。 ・通知年月日時 ・通知場所 ・通知対象者（児童生徒及び保護者を管理） ・通知書の種別 ・枚数 ・文書番号 ・端末名、ユーザID	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170050	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.7 学区管理	学区管理	住所による学区の自動設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170051	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.7 学区管理	学区管理	当該児童生徒の現住所が入力されると学区の設定により自動で就学指定校が選択されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170052	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.8 学校の新設・統廃合	学校の新設・統廃合	新設校・廃校の設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170053	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.8 学校の新設・統廃合	学校の新設・統廃合	新設校・廃校による学区の設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170054	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.9 コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理	以下の項目について、コードと名称を任意に設定し編集できること。 ただし、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令第三条第一号の規定に基づき基本データリストを定める告示（令和8年デジタル庁・総務省告示第11号）別表第21付表第1に定義しているものは、任意の追加・名称変更・削除は行わないこと。 ・保護者と児童生徒との関係（児童生徒に対する保護者の続柄を管理） ・性別 ・国籍 ・学年 ・小、中学校区 ・学校選択制の範囲 ・学校名、学校管轄区分、設置者名、学校住所、学校電話番号 ・学級区分 ・学齢簿変更事由 ・就学校変更事由 ・区域外就学事由 ・就学義務猶予事由 ・就学義務免除事由 ・不就学理由 ・原級留置理由	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170055	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.9 コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理の情報として有効期間を有し、該当期間時点のコード・パラメータを参照できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170056	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.9 コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理	以下の項目について、コードと名称を任意に設定し編集できること。 ・就学校変更区分 ・区域外就学区分 ・支援措置対象者区分	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170057	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.9 コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理	学校コードについては、文部科学省が公開している学校コード一覧を取り込み、最新化できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170445	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.9 コード・パラメータ管理	コード・パラメータ管理	以下の項目について、コードと名称を任意に設定し編集できること。 ・自治体学校コード	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170058	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.10 帳票管理	帳票管理	以下の保護者宛て通知書等の印字内容をマスタ管理し、任意に設定し編集できること。 ・帳票タイトル ・通知文 ・特記事項 ・様式番号 ・公印有無 ・公印の種類の設定（教育長印、職務代理人印、教育委員会印など） ・認証者肩書 ・認証者	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170461	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.10 帳票管理	帳票管理	離婚後の共同親権者が登録されている場合は、各々の親権者に対する帳票が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和9年4月1日
0170462	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.10 帳票管理	帳票管理	保護者宛て通知書等の宛名は、「（保護者名）＋様」と「（児童生徒氏名）＋保護者様」のいずれかから選択ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170397	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.10 帳票管理	帳票管理	公印については、認証者と合わせて保護者宛て通知書等ごとに設定可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170059	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.11 健康診断通知書管理	健康診断通知書管理	健康診断の実施情報について、学校ごとに以下の項目を管理し、健康診断通知に印字できること。 ・実施日時 ・実施場所 ・受付開始／終了時間	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170446	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.11 健康診断通知書管理	健康診断通知書管理	学校ごとの健康診断の実施情報（実施日時、実施場所、受付開始／終了時間）を管理するに当たり、CSV形式による一括更新ができること。更新結果の確認のため、CSV形式での一括出力ができること。	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日
0170060	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.12 入学通知書管理	入学通知書管理	学校ごとに以下の項目を管理し、小学校入学通知書及び中学校入学通知書に印字できること。 ・入学期日 ・入学式年月日 ・入学式開始時間 ・受付開始／終了時間 ・特記事項	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170447	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.12 入学通知書管理	入学通知書管理	学校ごとの入学式情報（入学期日、入学式年月日、入学式開始時間、受付開始／終了時間）を管理するに当たり、CSV形式による一括更新ができること。更新結果の確認のため、CSV形式での一括出力ができること。	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170448	1 管理項目	1.2 その他の管理項目	1.2.13 日本人・外国人出入国記録照会管理	日本人・外国人出入国記録照会	日本人・外国人出入国記録照会にあたり、同一児童生徒に対する複数回照会に対応し、照会結果が管理できること。 【管理項目】 ・文書日付 ・回答番号（文書番号） ・照会結果の記録等（メモ）	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日
0170061	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.1 検索機能	検索機能	システム利用者（ID単位）ごとに、一度検索ダイアログ等で設定した値（検索履歴）については、自動的にその設定値が、一定の件数保存されること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170062	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.1 検索機能	検索機能	また、それら検索履歴を選択することにより、同じ条件による再検索及び検索履歴を活用した新たな検索にも対応できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170063	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.2 検索文字入力	検索文字入力	氏名に関する検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170064	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	氏名（漢字・アルファベットを含む）・氏名の振り仮名（フリガナ）・生年月日（西暦・和暦）・性別・住所・宛名番号・世帯番号・就学校名・学年から検索できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170065	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	外国人の場合は、外国人氏名英字、外国人氏名漢字、通称名のいずれでも検索できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170400	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	就学事務固有で設定された通称名での検索ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170066	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	上記項目に関し、未就学児・児童生徒・保護者（保護者の場合は、就学校名、学年を除く）によらず検索ができ、複数項目による複合検索もできること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170067	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	外字検索、検索文字選択のためのサポート機能が提供されていること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170068	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	また、西暦と和暦はそれぞれ対応する年に置き換えた検索ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170069	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	検索により該当した情報の一覧表示ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170070	2 検索・照会・操作	2.1 学齢簿関連データ	2.1.3 基本検索	基本検索	検索結果が設定件数を超えるとメッセージが表示されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170071	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	過去の検索結果履歴から選択することにより対象者の照会ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170072	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	入学年月日、卒業年月日、異動日、クラス、保護者電話番号、学区、旧姓、旧住所を指定して検索できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170073	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	生年月日の検索について、生年月日が不詳であることも考えられるため、「年」のみの検索、「年月」のみの検索が可能であること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170074	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	学齢簿の状態（入学前、就学中、卒業、不就学等）を指定して検索ができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170075	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	就学校変更の許可期限が終了する児童生徒を検索できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170076	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	検索結果を降順、昇順に並び替えることができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170077	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	検索により該当した情報を選択した場合、該当者の属する世帯構成員の一覧表示ができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170078	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	検索結果を表示している状態で、検索条件を加えての再検索（絞込み）ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170079	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	兄弟姉妹の検索ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170449	2 検索・ 照会・操 作	2.1 学齢 簿関連 データ	2.1.3 基 本検索	基本検索	自治体学校コードを指定して検索ができること。	実装必須機能	標準オプション機 能	令和8年4月1日
0170080	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	個人を特定した後に、入学前、就学中、卒業、不就学等に関わらず該当者の学齢簿情報（中項目1.1で管理の情報）を照会できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170081	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	学齢簿の状態（入学前、就学中、卒業、不就学等）が明示されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170082	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	就学校と学区が違う場合は、明示されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170083	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	兄弟姉妹の照会を切替えられること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170084	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	「新年度」、「現年度」の情報をボタンで相互に照会できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170085	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.1 学 齢簿照会	学齢簿照会	健康診断受診予定校及び実際に受診する学校の記録ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170086	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.2 世 帯員照会	世帯員照会	学齢簿の登録において、該当の児童生徒の世帯構成が一覧で参照できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170087	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.2 世 帯員照会	世帯員照会	また、海外に転出した場合の確認及び住民基本台帳の抹消状況が確認できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170088	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.3 異 動履歴照 会	異動履歴照 会	個人を特定した後に、小項目1.2.1に規定する児童生徒の異動履歴を一覧形式で照会できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170089	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.3 異 動履歴照 会	異動履歴照 会	また、異動履歴一覧から選択した時点の学齢簿情報を照会できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170090	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.4 通 知書発行 履歴照会	通知書発行 履歴照会	個人を特定した後に、0170049の項に規定する通知書の発行履歴について、照会できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170091	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.5 漢 字文字の 照会等	漢字文字の 照会等	漢字文字（氏名及び住所）の照会については、拡大して照会ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170092	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.5 漢 字文字の 照会等	漢字文字の 照会等	漢字文字（氏名及び住所）の入力については、拡大して入力ができることともに、文字コードの照会ができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170093	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.6 支 援措置対 象者照会	支援措置対 象者照会	照会した該当者の学齢簿情報を確認する場合において、支援措置対象者である旨が明示的に確認できるとともに、支援措置責任者の了承を得て又は支援措置責任者のみが、小項目1.1.9に規定する支援措置対象者の詳細情報を確認できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170094	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.6 支 援措置対 象者照会	支援措置対 象者照会	通知書等を即時発行及び一括発行する際は、支援措置対象者の住所を非表示にする制御が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170095	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.6 支 援措置対 象者照会	支援措置対 象者照会	また、通知書等の発送者一覧は、支援措置対象者である旨が明示的に確認できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170096	2 検索・ 照会・操 作	2.2 照会	2.2.6 支 援措置対 象者照会	支援措置対 象者照会	支援措置対象者の相手方である場合、その旨に気づけること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170097	2 検索・ 照会・操 作	2.3 操作	2.3.1 キーボー ドのみの 画面操作	キーボード のみの画面 操作	端末のセキュリティを確保しながら、キーボードのみでも画面操作が可能であること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170098	3 抑止設 定	3.1 異 動・発 行・照会 抑止		異動・発 行・照会抑 止	支援措置対象者に対する抑止、操作権限管理（中項目7.3参照）に記載の排他制御に対する抑止、その他の抑止を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170099	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	住民記録システムに登録された支援措置対象者に対する抑止設定を参照し、異動入力・通知書発行、照会などの処理ごとに抑止（エラー、またはアラート）が表示されること。 ※エラー：論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等について、抑止すべき原因が解消されるまで、当該入力等を確定できないもの。 ※アラート：論理的には成立するが特に注意を要する入力等について、注意喚起の表示を経た上で、当該入力等を確定できるもの。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170100	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	各抑止機能について、異動入力、通知書発行、照会などの処理ごとに、個人及び世帯単位で、抑止（エラーとして処理不可、アラート表示を行うが処理可又は特段の制御を行わず処理可）の開始日及び終了日設定が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170101	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止が終了していない者について、抑止の一時解除ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170102	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	一時解除後、一定時間経過後に自動で抑止状態に戻ること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170103	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止状態に戻るまでの時間を設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170104	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止・解除、又は一時解除できる権限は個別に設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170105	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	なお、抑止の終了日を経過しても、抑止は自動的に終了しないこと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170106	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	検索結果の表示の際、抑止対象であることが明らかとなること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170107	3 抑止設定	3.1 異動・発行・照会抑止		異動・発行・照会抑止	抑止については1名の者に対して複数設定することができ、設定ごとに、抑止する処理・抑止レベル（エラー・アラート）の設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170108	4 学齢簿管理	4.1 新規就学者登録	4.1.1 新就学者一括登録	新就学者一括登録	新規就学者の学齢簿への記載の処理が行えること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170109	4 学齢簿管理	4.1 新規就学者登録	4.1.1 新就学者一括登録	新就学者一括登録	また、住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）から記載事項を自動的に反映し、学齢簿に一括登録ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170110	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	新就学者一 括登録	ただし、住民登録外者など自動判定が不可能な場合は、各項目の登録も可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170111	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	新就学者一 括登録	自動反映によるエラーや論理的には成立するが特に注意を要するものがある場合はアラートを表示し、権限者によって確認・修正・追記が行えること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170112	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	学区	住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）の住所コード、行政区（地域、地区、自治会）コード、番地から自動的に判断して学区が設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170113	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	学区	学区は小学校と中学校で区別して管理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170114	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	学区	また、自動的に判断した学区の変更ができ、自動的に判断できなかった学区については入力によって設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170115	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）から自動的に判断して保護者が設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170116	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	ただし、同一世帯に保護者が存在しない場合の別世帯からの登録や外国籍を有する児童生徒の保護者も任意に設定が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170117	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	なお、保護者認定申立による代理保護者が申請された場合も登録ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170118	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	保護者が未設定である児童生徒に対し、手入力による登録を行うため、保護者警告チェックリストで確認ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170119	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	また、全体チェック用として保護者情報チェック一覧表が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170120	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	保護者警告チェックリスト、保護者情報チェック一覧表は、全件を指定するか、異動日範囲や処理日範囲を抽出条件を指定して出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170121	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	保護者	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170122	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	入学予定者 の個別登録	新就学者の一括登録とは別に、入学が予定されている児童生徒を学齢簿に登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170123	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	入学予定者 の個別登録	任意の学年を入力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170124	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	入学予定者 の個別登録	また、入力補助として生年月日から学年を自動算出し、設定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170125	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.1 新 就学者一 括登録	就学予定者 の確認	新就学者の一括登録後、小学校就学予定者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170126	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	入学確定処 理	小学校入学対象者に対して指定した入学年月日を一括登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170127	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	入学確定処 理	ただし、入学予定者のうち転出等の異動があった場合は、入学確定処理は行わないこと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170128	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	学年	住民記録情報（日本国籍を有する者の住民データ・外国籍を有する者の住民データ）の生年月日から自動的に判断して、学年が自動設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170129	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	学年	また、学齢簿側で入力された生年月日からでも学年の自動計算ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170130	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	小学校入学 者名簿	学校や学年を抽出条件に指定した小学校入学者名簿が作成・出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170131	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	小学校入学 者名簿	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170132	4 学齢簿 管理	4.1 新規 就学者登 録	4.1.2 新 就学者確 定	小学校入学 者名簿	全件リストについては、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。 （EUC機能（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち全ての地方公共団体情報システムに共通して実装することができる機能の標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第10号）第2条第2項ホに規定するEUC機能をいう。以下この表において同じ。）でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170133	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	転入者の学齢簿は、住民記録情報の異動情報から自動的に作成できること。	標準オプショ ン機能	標準オプショ ン機能	
0170396	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	編入者の学齢簿は、住民記録情報の異動情報からの自動作成でなく、個別に作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170134	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	一括作成しない場合は対象者を一覧表示した後、該当者を選択することで個別に反映することができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170135	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	また、住民記録情報の異動事由によって自動反映の有無を選択できること。 自動反映によらず個別での登録も可能とする。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170136	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	異動時には保護者の自動設定、学区の自動設定、学年の自動設定ができ、履歴を作成すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170137	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	また、0170115の項から0170121の項に記載の内容について留意すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170138	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入者・編 入者の異動	学校から転入報告をC S Vで受け取り、システムに取り込むことができること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170139	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	二重登録	再転入や帰化、住民登録外者から住民登録となった場合、過去の情報と新しい情報の2つのデータを同一人物としてチェックする機能を備え、二重登録と判断した場合は1つの学齢簿に統合することができること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170140	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	二重登録	また、同一人リストが出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170141	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入学の通 知	児童生徒の転入があった場合、学齢簿の登録を行った後、転入学通知書又は入学通知書の出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170142	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入学の通 知	また、転入学通知書の出力は転入処理を行った窓口でも即時発行ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170143	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入学の通 知	また、就学指定校と就学校が相違した状態であっても強制的に転入学通知書が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170144	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	転入学の通 知	紛失等による保護者からの申出により、再発行も可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170145	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	編入学の通 知	児童生徒の編入があった場合、学齢簿の登録を行った後、編入学通知書の出力ができること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170146	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.1 転 入学・編 入学、新 就学者異 動	編入学の通 知	海外からの一時帰国や、外国籍を有する児童生徒の仮入学（体験入学）は、正規の就学とは区分を分け、仮入学についてもDBに登録し、通知書等を出力できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170147	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住民基本台 帳異動の自 動反映	住民記録情報に異動があった場合、住民記録情報より自動で反映できること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170148	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住民基本台 帳異動の自 動反映	自動反映しない場合は対象者を一覧表示した後、該当者を選択することで個別に反映することができること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170149	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住民基本台 帳異動の自 動反映	また、住民記録情報の異動事由によって自動反映の有無を選択できること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170150	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住民基本台 帳異動の自 動反映	異動時には保護者の自動設定、学区の自動設定ができ、履歴を作成すること。	標準オプショ ン機能	標準オプシ ョン機能	
0170151	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	児童生徒又は保護者に係わる住基異動者リストが出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170152	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	指定した年月日の範囲に異動があったものを対象として、住基異動者リストを作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170153	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	また、外国籍を有する児童生徒又は保護者については、日本国籍を有する児童生徒又は保護者とは分けて出力することができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170154	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	出力対象は、住民記録システムの異動事由ごとに出力有無を設定可能と すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170155	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	XLSX形式、CSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170156	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	身元引受人に係わる住基異動者リストが出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170402	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	住基異動者 の確認	住民基本台帳と学齢簿で差異があった児童生徒又は保護者を対象とし、 学齢簿・住基差異チェックリストが出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170157	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	学齢簿に記載された内容は任意に変更できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170158	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	また、年度途中でも保護者の変更や転学等の情報を変更できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170159	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	学齢簿の記載内容に変更があった場合、学齢簿記載事項異動通知書及び 学齢簿異動者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170160	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	また、異動入力した内容の履歴情報も作成・管理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170161	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	異動日範囲や処理日範囲を抽出条件に指定して学齢簿記載事項異動通知 書及び学齢簿異動者一覧を一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170162	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選 択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170163	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	備考は最新のデータにて管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170164	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿記載 内容の変更	任意の項目を登録でき、項目タイトルを自由にカスタマイズできること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170165	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿の消 除	転出等により学齢簿が消滅する場合、在籍していた学校向けに学齢簿記載事項異動通知書の出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170166	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿の消 除	また、保護者用と学校用の2種類の出力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170167	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学齢簿の消 除	転出等により学齢簿が消滅する場合、在席していた学校向けに除籍報告書を出力できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170168	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	不就学・猶 予・免除	不就学、就学義務の猶予又は免除に関する情報の登録・変更・照会ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170169	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	不就学・猶 予・免除	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170170	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	不就学・猶 予・免除	出席の督促についても督促履歴の登録・修正・照会ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170171	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	不就学・猶 予・免除	また、就学義務の猶予又は免除の事由が消失した場合、転入学通知書を出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170172	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	就学義務の 猶予・免除 の通知	就学困難が認められた児童生徒に対して、就学義務を猶予又は免除することとなった場合、就学義務猶予免除通知書の出力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170173	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学校への通 知	学齢簿の内容に変更があった場合には学齢簿記載事項異動通知書が出力 できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170174	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学校への通 知	また、対象範囲は学齢簿に関連する住民記録情報の異動も含むこと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170175	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.2 学 齢簿の記 載事項等 の変更	学校への通 知	学齢簿記載事項異動通知書は一括出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170176	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 度	学区の自動設定とは別に学校選択機能があること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170177	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 度	学校選択制に伴う異動処理が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170178	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 度	また変更・照会もできること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170179	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	抽選機能	学校選択制度による募集数を超過した場合、抽選対応ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170180	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	新入学児童生徒を対象にした学校選択制案内書が発行できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170181	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	また、学校選択制案内書発送者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170182	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	併せて、学校選択制調査書も出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170183	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	学校選択制案内書と調査書は、国籍ごとにまとめて出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170184	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	学校選択制案内書と調査書は小学校向けと中学校向けに出力できるこ と。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170450	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	学校選択制において、通学区域を住所順（郵便番号または町字コード 順）に一覧表示できること。	実装必須機能	標準オプション機 能	令和8年4月1日
0170451	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.3 学 校選択制	学校選択制 の案内	併せて、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも 可）	実装必須機能	標準オプション機 能	令和8年4月1日
0170185	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	保護者からの申請に伴う、就学校変更に関する異動（登録・変更・照 会）ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170186	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170187	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	就学校変更理由は、一覧から選択による入力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170188	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	また、変更した履歴を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170189	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	就学校変更の解除ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170190	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	就学校変更申請年月日範囲や就学校変更許可年月日範囲を抽出条件に指定して就学校変更者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170191	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校の変 更	また、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170192	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校変更 の申請	就学校変更申請書が出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170404	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校変更 の申請	就学校変更申請書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170193	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校変更 の申請	また、就学校変更の申請理由、許可理由及び許可期間、学校名が管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170194	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校変更 の申請	理由については一覧から選択ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170195	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	就学校変更 の申請	審査等で不許可となる場合については、不許可通知書が出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170196	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	許可期間の 満了	就学校変更の許可期間が満了する児童生徒に対して、就学校変更を終了し、就学指定校に戻る処理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170197	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	許可期間の 満了	また、就学校変更満了通知書および転入学通知書が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170198	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	変更許可の 通知	就学校変更申請書による届出が許可された場合、就学校変更許可通知書を出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170199	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	変更許可の 通知	また、保護者宛て・変更前後の学校長宛てで出力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170405	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.4 就 学校の変 更	変更許可の 通知	就学校変更許可通知書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170200	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	区域外就学に伴う異動の登録・変更・照会ができ、区域外就学における管理項目の修正ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170201	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	また、区域外学校へ就学する児童生徒を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170202	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	併せて、区域外就学申請年月日範囲や区域外就学許可年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170411	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	併せて、区域外就学開始年月日範囲や区域外就学終了年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170203	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170441	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外への 就学	区域外就学許可年月日範囲について、区域外就学開始年月日の範囲及び区域外就学終了年月日の範囲を抽出条件として指定できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170204	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外就学 の解除	区域外就学が解除された場合は、解除日の任意入力や備考が入力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170205	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外就学 の解除	また、転入学通知書の出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170206	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外就学 期間の満了	区域外就学の期間が満了した等（住民記録情報の異動を伴わない事由）の場合、区域外就学を終了し、学齢簿の消除もしくは就学指定校に戻る処理ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170207	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.5 区 域外への 就学	区域外就学 期間の満了	また、区域外就学満了通知書および転入学通知書を交付できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170208	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	区域外就学に伴う異動の登録・変更・照会ができ、区域外就学における管理項目の修正ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170209	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	また、市町村外から市町村内学校への就学する児童生徒を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170210	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	マイナポータルから受け付けた申請情報を登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170211	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	併せて、区域外就学申請年月日範囲や区域外就学許可年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170412	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	併せて、区域外就学開始年月日範囲や区域外就学終了年月日範囲を抽出条件に指定した区域外就学者一覧が作成できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170212	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170442	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外から の就学	区域外就学許可年月日範囲について、区域外就学開始年月日の範囲及び区域外就学終了年月日の範囲を抽出条件として指定できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170213	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外からの 就学	区域外就学 の申請	区域外就学申請書の出力が可能であること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170406	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 の申請	区域外就学申請書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170214	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 の申請	また、申請された書類より申請理由、許可理由及び許可期間、就学校名が管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170215	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 の申請	申請理由については、一覧から選択ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170216	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 の申請	審査等で不許可となる場合については、不許可通知書が出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170217	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 の申請	申請書を基に予定の入力、承諾書を受けての確定入力のように二段階での登録ができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170218	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 協議書	市町村外の児童生徒が当該市町村内の学校に就学申請がある場合、相手先市町村に区域外就学協議書が出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170407	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 協議書	区域外就学協議書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170219	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 協議書	併せて、区域外就学承諾書も出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170408	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 協議書	区域外就学承諾書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170220	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 許可の通知	区域外就学申請に基づき、審査及び協議を経て区域外就学の承諾を得られた場合、区域外就学許可通知書が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170221	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 許可の通知	また、保護者宛てと就学校先学校長宛てそれぞれの出力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170409	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.6 区 域外から の就学	区域外就学 許可の通知	区域外就学許可通知書の希望変更期間について、DV避難や施設入所の場合には申請時点で今後の状況が分からない場合は、「事由消失の日まで」とすることが出来ること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170222	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 国・私立 就学	国・私立就 学	国・私立就学の届出に伴う異動の登録・変更・照会ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170223	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 国・私立 就学	国・私立就 学	また、市町村立学校の児童生徒以外の市内在住者についても、管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170224	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 国・私立 就学	国・私立就 学の届出	保護者より届出があった国・私立の就学校、期間を管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170225	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 就学	国・私立就 学の届出	また、国・私立への就学情報を履歴で管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170226	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 就学	学校への通 知	市内に住民登録されている児童生徒が国私立小中学校へ就学する場合、 学校宛ての通知書を作成できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170227	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.7 国・私立 就学	就学通知書 の回収	国・私立学校等に就学の申出があった場合に就学通知書を交付せず、回 収入力を行う。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170228	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	進級・卒業 一括処理	小学校の進級・卒業および中学校の入学・進級・卒業の一括処理（年次 切替処理）ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170229	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	進級・卒業 一括処理	また、一括更新の際、就学義務が猶予・免除されていた年数および原級 留置を考慮して進級及び卒業処理から除外できるようにすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170230	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	卒業年月日	小学校、中学校等の卒業対象者に対して、指定した卒業年月日を一括し て登録できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170231	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	原級留置対 象者の把握	原級留置対象者一覧が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170232	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	中学校入学 者名簿	学校や学年を抽出条件に指定した中学校入学者名簿が作成・出力できる こと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170233	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	中学校入学 者名簿	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選 択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170234	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	中学校入学 者名簿	全件リストについては、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。 （EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170235	4 学齢簿 管理	4.2 学齢 簿異動	4.2.8 進 級・卒業	就学校変更 満了日	就学校変更を許可された児童生徒の就学校変更の満了日を一括して登録 できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170236	4 学齢簿 管理	4.3 学校 の新設・ 統廃合	4.3.1 学 校の新 設・統廃 合	学校の新 設・統廃合	新たに新設される学校による就学校の変更があった場合や学校の統廃合 及び再編成があった場合は、学区の登録・変更ができ、該当する児童生 徒の指定小学校区、指定中学校区、就学指定校名、就学校名を一括更新 できること。また、一括更新に際しては、変更履歴の作成も行い、学校 入学年月日、学校転学年月日、学齢簿変更届出年月日、学齢簿変更年月 日、学齢簿変更処理年月日、学齢簿変更事由もあわせて設定できるこ と。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170237	4 学齢簿 管理	4.3 学校 の新設・ 統廃合	4.3.1 学 校の新 設・統廃 合	学校の新 設・統廃合	また、新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170238	4 学齢簿 管理	4.3 学校 の新設・ 統廃合	4.3.1 学 校の新 設・統廃 合	学校の新 設・統廃合	併せて新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書発送者一覧が出力でき ること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170239	4 学齢簿 管理	4.3 学校 の新設・ 統廃合	4.3.1 学 校の新 設・統 廃合	学校の新 設・統廃 合	住居表示等により通学区域の変更があった際に、学区及び学校の変更後のデータを一括で取り込むことができること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170401	4 学齢簿 管理	4.3 学校 の新設・ 統廃合	4.3.1 学 校の新 設・統 廃合	学校の新 設・統廃 合	また、更新結果を確認するための一覧表を出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170240	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	翌年度に入学が予定されている児童生徒の入学予定通知書が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170241	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	入学予定通知書は小学校向けと中学校向けで抽出・出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170242	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	また、入学予定通知書発送者一覧も出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170243	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170244	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170245	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	翌年度に入学が予定されている児童生徒のうち就学校変更申請および区域外就学申請書の手続き未了者に対して督促通知書が出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170246	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.1 入 学予定通 知書	入学予定通 知書	また、督促通知書発送一覧も出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170247	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.2 学 校選択制 通知	学校選択制 通知	学校を抽出条件に指定して、新入学児童生徒を対象にした学校選択制案内書が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170248	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.2 学 校選択制 通知	学校選択制 通知	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170249	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.2 学 校選択制 通知	学校選択制 通知	学校選択制案内書発送者一覧が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170250	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.2 学 校選択制 通知	学校選択制 通知	併せて、学校選択制調査書も一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170251	5 発行	5.1 通知 書等出力	5.1.2 学 校選択制 通知	学校選択制 通知	学校選択制案内書と学校選択制調査書は小学校向けと中学校向けに一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170252	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.2 学校選択制通知	学校選択制通知	学校選択制に則った選択可能な学校の一覧を印刷できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170253	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.2 学校選択制通知	学校選択制通知	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170254	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.2 学校選択制通知	学校選択制通知	新入学児童生徒を対象にした指定変更許可区域該当通知書対象者名簿、指定変更許可区域該当通知書対象者名簿兼入学希望学校調査票が発行できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170255	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	新入学児童を対象にして学校を抽出条件に指定して健康診断通知書が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170403	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	新入学児童を対象にして学校を抽出条件に指定して健康診断票、健康診断予備調査票が一括出力できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170256	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	就学時健康診断の実施日・受付時間・受診場所を任意に設定でき、健康診断通知書発送者一覧も一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170257	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170258	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	学校を抽出条件に指定して健康診断結果通知書、健康診断結果通知書発送者一覧の一括出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170259	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170260	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170261	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	健康診断と同時に実施される講座などへの参加有無などの印字ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170262	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	健康診断受診予定校及び、実際に受診する学校の記録が可能なこと。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170263	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	健康診断票発送者一覧が出力できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170264	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.3 健康診断通知書・健康診断票	健康診断通知書・健康診断票	健康診断予備調査票発送者一覧が出力できること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170265	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	入学が決定した内容で保護者向けの入学通知書及び入学通知書発送者一覧の一括出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170266	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	また、学校を抽出条件に設定でき、小学校と中学校で別々に出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170410	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	また、学級区分を抽出条件に設定でき、通常の学級と特別支援学級で別々に出力できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170267	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170268	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170443	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	入学通知書・入学通知書一覧作成において、一部対象外を設定することができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170444	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.4 入学通知書	入学通知書	入学通知書の出力は、転入処理を行った窓口でも即時発行ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170269	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.5 就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書	就学校変更の許可期間が満了した児童生徒に対して、就学校変更満了通知書が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170270	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.5 就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170271	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.5 就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書発送者一覧が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170272	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.5 就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170273	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.6 区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書	区域外就学の許可期間が満了した児童生徒に対して、区域外就学満了通知書が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170274	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.6 区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170275	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.6 区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書発送者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170276	5 発行	5.1 通知書等出力	5.1.6 区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170277	5 発行	5.2 名簿出力	5.2.1 学齢簿	学齢簿	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170278	5 発行	5.2 名簿出力	5.2.1 学齢簿	学齢簿	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170279	5 発行	5.2 名簿出力	5.2.1 学齢簿	学齢簿	併せて、卒業年月日を条件に指定することで、特定年度の卒業者の学齢簿も一括出力が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170280	5 発行	5.2 名簿出力	5.2.1 学齢簿	学齢簿	異動日範囲や処理日範囲を抽出条件に指定して、異動分の一括出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170281	5 発行	5.2 名簿出力	5.2.1 学齢簿	学齢簿	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170282	5 発行	5.3 学齢簿情報出力	5.3.1 学齢簿情報	学齢簿情報	学齢簿情報をXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170283	5 発行	5.3 学齢簿情報出力	5.3.1 学齢簿情報	学齢簿情報	学区別児童生徒一覧・外国籍児童一覧、外国籍生徒一覧により庁内連絡用の学齢簿情報が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170452	5 発行	5.3 学齢簿情報出力	5.3.1 学齢簿情報	学齢簿情報	複数の学区が設定されている住所の一覧について、候補となる学校とともに住所順（郵便番号または町字コード順）で出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日
0170284	5 発行	5.4 成人式案内出力	5.4.1 成人式案内	成人式案内	生年月日を抽出条件に指定して成人式案内の一括出力ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170285	5 発行	5.4 成人式案内出力	5.4.1 成人式案内	成人式案内	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170286	5 発行	5.4 成人式案内出力	5.4.1 成人式案内	成人式案内	成人式案内送付一覧の一括出力ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170287	5 発行	5.4 成人式案内出力	5.4.1 成人式案内	成人式案内	対象者を指定した個別発行が可能であること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170288	5 発行	5.5 運動会案内出力	5.5.1 運動会案内	運動会案内	生年月日を抽出条件に指定して運動会案内の一括出力ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170289	5 発行	5.5 運動会案内出力	5.5.1 運動会案内	運動会案内	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170290	5 発行	5.5 運動会案内出力	5.5.1 運動会案内	運動会案内	運動会案内送付一覧の一括出力ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170291	5 発行	5.5 運動会案内出力	5.5.1 運動会案内	運動会案内	対象者を指定した個別発行が可能であること。	標準オプション機能	標準オプション機能	

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170292	5 発行	5.6 統計	5.6.1.1 学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170293	5 発行	5.6 統計	5.6.1.1 学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表	併せて、XLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170294	5 発行	5.6 統計	5.6.1.1 学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表の集計にあたり、時点を指定できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170295	5 発行	5.6 統計	5.6.1.2 学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170296	5 発行	5.6 統計	5.6.1.2 学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）	また、特別支援学級児童は別途個別に計上できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170297	5 発行	5.6 統計	5.6.1.2 学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170298	5 発行	5.6 統計	5.6.1.2 学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別人口統計表（小学校）の集計にあたり、時点を指定できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170299	5 発行	5.6 統計	5.6.1.3 学区・学校・地域別集計表（中学校）	学区・学校・地域別集計表（中学校）	学区・学校・地域別集計表（中学校）が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170300	5 発行	5.6 統計	5.6.1.3 学区・学 校・地域 別集計表 (中学 校)	学区・学 校・地域別 集計表（中 学校）	また、特別支援学級生徒は個別に別途計上できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170301	5 発行	5.6 統計	5.6.1.3 学区・学 校・地域 別集計表 (中学 校)	学区・学 校・地域別 集計表（中 学校）	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170302	5 発行	5.6 統計	5.6.1.3 学区・学 校・地域 別集計表 (中学 校)	学区・学 校・地域別 集計表（中 学校）	学区・学校・地域別人口統計表（中学校）の集計にあたり、時点を指定 できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170303	5 発行	5.6 統計	5.6.1.4 教育人口 等推計表	教育人口等 推計表	学区・地域別に教育人口等推計表が作成できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170304	5 発行	5.6 統計	5.6.1.4 教育人口 等推計表	教育人口等 推計表	また、今後5年後までの将来年度ごとに推計表が作成できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170305	5 発行	5.6 統計	5.6.1.4 教育人口 等推計表	教育人口等 推計表	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170306	5 発行	5.6 統計	5.6.1.4 教育人口 等推計表	教育人口等 推計表	教育人口等推計表の集計にあたり、時点を指定できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170307	5 発行	5.7 支援 措置対 象・抑止 対象	5.7.1 支 援措置対 象者一覧	支援措置対 象者一覧	支援中のみを対象とするか、支援措置が終了したものを含めた対象とする かを抽出条件に指定して学校ごとに支援措置対象者一覧が出力できる こと。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170308	5 発行	5.7 支援 措置対 象・抑止 対象	5.7.1 支 援措置対 象者一覧	支援措置対 象者一覧	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選 択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170309	5 発行	5.7 支援 措置対 象・抑止 対象	5.7.2 抑 止対象者 一覧	抑止対象者 一覧	抑止中のみを対象とするか、抑止が終了したものを含めた対象とするか を抽出条件に指定して学校ごとに抑止対象者一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170310	5 発行	5.7 支援 措置対 象・抑止 対象	5.7.2 抑 止対象者 一覧	抑止対象者 一覧	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選 択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170311	5 発行	5.8 不就学	5.8.1 日本人・外国人出入国記録照会	日本人・外国人出入国記録照会	不就学である児童生徒を把握するため、生年月日範囲を抽出条件に指定して不就学者を抽出し、外国人出入国記録照会書を国籍別に一括出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170312	5 発行	5.8 不就学	5.8.1 日本人・外国人出入国記録照会	日本人・外国人出入国記録照会	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170313	5 発行	5.8 不就学	5.8.1 日本人・外国人出入国記録照会	日本人・外国人出入国記録照会	外国人出入国記録照会書発送者一覧が一括出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170314	5 発行	5.8 不就学	5.8.1 日本人・外国人出入国記録照会	日本人・外国人出入国記録照会	対象者を指定した個別発行が可能であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170315	5 発行	5.8 不就学	5.8.2 外国籍児童への就学案内	外国籍児童への就学案内	不就学である外国籍を有する児童生徒向けに外国籍児童への就学案内の出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170316	5 発行	5.8 不就学	5.8.2 外国籍児童への就学案内	外国籍児童への就学案内	また、通知内容は日本語のみならず外国語表記に対応でき、いくつかの外国語パターンが用意できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170317	5 発行	5.9 その他	5.9.1 学区別児童生徒一覧	学区別児童生徒一覧	学区、学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に登載された児童生徒を学区別に一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170318	5 発行	5.9 その他	5.9.1 学区別児童生徒一覧	学区別児童生徒一覧	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170319	5 発行	5.9 その他	5.9.1 学区別児童生徒一覧	学区別児童生徒一覧	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170320	5 発行	5.9 その他	5.9.2 外国籍児童一覧	外国籍児童一覧	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に登載された外国籍児童一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170321	5 発行	5.9 その他	5.9.2 外国籍児童一覧	外国籍児童一覧	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170322	5 発行	5.9 その他	5.9.2 外国籍児童一覧	外国籍児童一覧	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170323	5 発行	5.9 その他	5.9.3 外国籍生徒一覧	外国籍生徒一覧	学校や学年を抽出条件に指定して学齢簿に搭載された外国籍生徒一覧が出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170324	5 発行	5.9 その他	5.9.3 外国籍生徒一覧	外国籍生徒一覧	また、出力順は、出力項目をパターン化し、出力順パターンの中から選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170325	5 発行	5.9 その他	5.9.3 外国籍生徒一覧	外国籍生徒一覧	併せてXLSX形式又はCSV形式により出力できること。（EUC機能でも可）	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170326	5 発行	5.9 その他	5.9.4 各種通知書 発送者文字切れリスト	各種通知書 発送者文字切れリスト	システムから出力される通知書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさを調整するなどして、文字超過とならないようすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170327	5 発行	5.9 その他	5.9.4 各種通知書 発送者文字切れリスト	各種通知書 発送者文字切れリスト	なお、文字数が多くやむをえず文字溢れが生じる場合や、未登録外字が含まれる場合は、以下の対応が行えること。 【個別発行の場合】 アラートを表示して注意喚起するとともに、文字溢れした情報、未登録外字を確認できるようにすること。 【一括発行の場合】 各種通知書発送者文字切れリストを出力して、文字溢れした情報、未登録外字を確認できるようにすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170328	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	バッチ処理の実行（起動）方法として、直接起動だけでなく、年月日及び時分、毎日、毎週○曜日、毎月XX日、毎月末を指定した方法（スケジュール管理による起動）が提供されること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170330	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	また、バッチ処理の実行時は、前回処理時に設定したパラメータが参照されること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170331	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	前回設定のパラメータは、一部修正ができること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170332	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	修正パラメータ個所については、修正した旨が判別し易くなっていること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170334	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	全てのバッチ処理の実行結果（処理内容や処理結果、処理時間、処理端末名称、正常又は異常の旨、異常終了した際はOSやミドルウェア等から出力されるエラーコード等）が出力されること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170335	6 バッチ	6.1 バッチ処理		バッチ処理	バッチの実行結果から一連の作業で最終的な提出物をXLSX形式等で作成する場合等には、自動実行する仕組みを用意すること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170336	7 共通	7.1 EUC機能ほか		EUC機能ほか	EUC機能を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170337	7 共通	7.1 EUC機能ほか		EUC機能ほか	EUC機能へ連携するデータ項目は、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令第三条第一号の規定に基づき基本データリストを定める告示別表第21、別表第21付表第1及び別表第21付表第2の規定に従うこと。（就学事務システム（学齢簿編製等）とEUC機能を一体のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。） なお、機能別連携仕様にて他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170338	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	(1) ログの取得 個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対して、以下のログを取得すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170339	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	① 操作ログ ア. 取得対象： (a)照会、(b)帳票発行、(c)異動入力（履歴追加）、(d)異動入力（履歴修正）、(e)異動入力（履歴削除）、(f)バッチ処理（帳票作成）、(g)バッチ処理（データ更新）、(h)画面ハードコピー、(i)データ抽出（EUC） ※(c)から(e)までについては、仮登録及び本登録両方の操作ログを取得できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170340	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	イ.記録対象： 操作者 ID、日時、ファイル名、端末名、オンラインの場合は対象となったレコード（処理対象者等）・機能名・画面名、バッチについては処理名、処理・交付場所、個人番号へのアクセス有無	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170341	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	② 認証ログ ログイン及びログインのエラー回数等	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170342	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	③ イベントログ 就学事務システム（学齢簿編製等）内で起こった特定の現象・動作の記録。異常イベントやデータベースへのアクセス等のセキュリティに関わる情報	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170343	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	④ 通信ログ Webサーバや Web アプリケーションサーバ、データベースサーバ等との通信エラー等	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170344	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	⑤ 印刷ログ 印刷者ID、印刷日時、対象ファイル名、印刷プリンタ（又は印刷端末名）、タイトル、枚数、公印出力の有無、個人番号の出力の有無、出力形式（プレビュー、印刷、ファイル出力等）、通知書の場合には文書番号等の情報	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170345	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	⑥ 設定変更ログ 管理者による設定変更時の情報	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170398	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	⑦エラーログ 就学事務システム（学齢簿編製等）上でエラーが発生した際の記録	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170399	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	取得したログは、市区町村が定める期間保管するとともに、オンラインでの検索・抽出・照会、EUC機能を用いた後日分析が簡単にできること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170346	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	なお、システム利用者や第三者によるログの改ざんがされないよう、書き込み禁止等の改ざん防止措置がされること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170347	7 共通	7.2 アクセスログ管理		アクセスログ管理	(2) ログの分析 システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170348	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170349	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170350	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170351	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	シングル・サイン・オンが使用できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170352	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170353	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170354	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジュールに設定する等、事前に準備ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170355	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170356	7 共通	7.3 操作権限設定・管理		操作権限設定・管理	他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170357	7 共通	7.3 操作 権限設 定・管理		操作権限設 定・管理	なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170359	7 共通	7.3 操作 権限設 定・管理		操作権限設 定・管理	IDパスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170360	7 共通	7.3 操作 権限設 定・管理		操作権限設 定・管理	複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170361	7 共通	7.3 操作 権限設 定・管理		操作権限設 定・管理	組織・職位・職権での操作権限を設定できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170392	7 共通	7.3 操作 権限設 定・管理		操作権限設 定・管理	操作権限一覧表で操作権限が設定できること。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170362	7 共通	7.5 ヘル プ機能		ヘルプ機能	システムの操作方法や運用方法等について、マニュアルを有していること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170363	7 共通	7.5 ヘル プ機能		ヘルプ機能	また、ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170364	7 共通	7.5 ヘル プ機能		ヘルプ機能	システムの操作方法や運用方法等について、冊子のマニュアルを有していること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170365	7 共通	7.6 デー タ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力		データ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力	データ要件の標準（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和8年デジタル庁・総務省令第8号）第2条第2号に規定するデータ要件の標準をいう。）に従って、基本データリストに規定するグループを単位にして、任意のタイミングで出力する機能が提供されること。なお、その際にはデータ要件・連携要件の標準を定める命令にて規定されている文字要件に準ずること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170366	7 共通	7.6 デー タ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力		データ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力	また、データ要件の標準以外で保有するデータがある場合は、同様に提供されること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170367	7 共通	7.6 デー タ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力		データ要件・ 連携要件 標準仕様 書に基づく 出力	システム契約期間の終了時には、その時点でのデータ要件の標準に従って任意でデータ提供ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170368	7 共通	7.7 印刷		印刷	通知書を発行する際にプリンタやトレー（ホッパ）の指定ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170369	7 共通	7.7 印刷		印刷	出力部数を設定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170370	7 共通	7.7 印刷		印刷	帳票発行時にプレビュー機能を保有すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170371	7 共通	7.7 印刷		印刷	帳票発行時にPDFか紙出力が指定でき、プリンタが指定できること。なお、デフォルトでPDFか紙出力かを設定できることとしても可能とする。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170372	7 共通	7.7 印刷		印刷	就学事務システム（学齢簿編製等）内部でアクセスログの取得が可能な形で、表示画面のハードコピー機能及びハードコピーの印刷機能を有すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170373	7 共通	7.7 印刷		印刷	氏名や住所等の印刷域桁数を超過したものについては、帳票発行時に超過内容を記載したリストを出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170374	7 共通	7.7 印刷		印刷	アクセスログが取得できないOS独自の印刷ができること。	実装不可機能	実装不可機能	令和8年4月1日
0170375	7 共通	7.7 印刷		印刷	学齢簿の全児童生徒分印刷を行うため、高速印刷が行えるよう連帳プリンタで印刷できること。	標準オプション機能	標準オプション機能	
0170376	7 共通	7.8 文書番号及び発行年月日		文書番号及び発行年月日	文書番号及び発行年月日を通知書に記載できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170377	7 共通	7.9 公印・職名の印字		公印・職名の印字	システムから出力される公印印字に対応する通知書等には、通知書ごとに、教育長又は職務代理者の職名・氏名、公印印字の有無及び公印の種類（教育長又は職務代理者の印）が選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170378	7 共通	7.9 公印・職名の印字		公印・職名の印字	また、教育長又は職務代理者、代表者の職名を印字する場合は、指定都市・特別区の場合も含め、都道府県名を印字すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170379	7 共通	7.9 公印・職名の印字		公印・職名の印字	なお、公印は電子公印に対応し、種類（教育長又は職務代理者の印）が選択できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170380	7 共通	7.9 公印・職名の印字		公印・職名の印字	また、「公印省略」「この印は黒色です」等の任意の固定文言が印字できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170381	7 共通	7.9 公印・職名の印字		公印・職名の印字	なお、電子公印は最大25mm角の黒色とすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170382	7 共通	7.10 文字溢れ対応		文字溢れ対応	システムから出力される通知書等の出力項目に文字溢れが発生した場合は、文字の大きさを調整するなどして、文字超過とならないようすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170383	7 共通	7.10 文字 溢れ対応		文字溢れ対 応	なお、文字数が多くやむをえず文字溢れが生じる場合は、以下の対応が行えること。 【個別発行の場合】 文字溢れした情報、未登録外字を確認できるようにすること。 【一括発行の場合】 各種通知書発送者文字切れリストを出力して、文字溢れした情報を確認できるようにすること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170384	7 共通	7.11 住登 外者宛名 番号の付 番依頼・ 管理機能		住登外者宛 名番号の付 番依頼・管 理機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号管理機能（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち全ての地方公共団体情報システムに共通して実装することができる機能の基準を定める命令第2条第2項ハに規定する住登外者宛名番号管理機能をいう。次項において同じ。）に対して対象者を照会し、照会結果を表示できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170413	7 共通	7.11 住登 外者宛名 番号の付 番依頼・ 管理機能		住登外者宛 名番号の付 番依頼・管 理機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号の付番に際し、住登外者宛名番号管理機能より受領した照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号を当該対象者の宛名番号として管理し、その選択結果を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれていない場合は、住登外者宛名番号管理機能に対して住登外者宛名番号の付番依頼ができること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170414	7 共通	7.11 住登 外者宛名 番号の付 番依頼・ 管理機能		住登外者宛 名番号の付 番依頼・管 理機能	住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・登録、更新した住登外者の宛名情報を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170385	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170386	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	二次元コード（カスタマーバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170393	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータ（外字情報を含む。）について印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	標準オプショ ン機能	標準オプショ ン機能	
0170453	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	出力帳票について、分割なし、行政区等単位で分割のいずれかを選択できること。	実装必須機能	-	令和8年4月1日
0170454	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	出力される帳票の出力順（行政区順、学校コード順、行政区順と学校順の組み合わせ方法）、改ページの設定（一括出力時に区ごと又は学校ごとに改ページを行うかの有無）等について自治体で選択できること。	実装必須機能	-	令和8年4月1日
0170455	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	ファイル名の命名規則について自治体ごとに設定できること。	実装必須機能	-	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170456	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	PDFやXLSX形式の帳票出力結果ファイルを出力する場合、学校単位又は 学区単位でファイル分割できること。	実装必須機能	標準オプション機 能	令和8年4月1日
0170457	7 共通	7.12 大量 印刷デー タ出力		大量印刷 データ出力	出力した帳票データのファイル名の命名規則を設定できること。	実装必須機能	標準オプション機 能	令和8年4月1日
0170394	7 共通	7.13 マイ ナポータル びったりサ ービス		マイナポ ータルびた りサービス	マイナポータルびったりサービスより受け付けた申請データのうち管理 が必要な項目を、申請管理機能（地方公共団体情報システムの標準化に 関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通 する基準のうち全ての地方公共団体情報システムに共通して実装するこ とができる機能の標準を定める命令第2条第2項イに規定する申請管理 機能をいう。以下この表において同じ。）を経由して取得できること。 なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請 管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日 総務 省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して取得 することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様書にお ける管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目が不足す る場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよい。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170395	7 共通	7.13 マイ ナポータル びったりサ ービス		マイナポ ータルびた りサービス	申請管理機能がマイナポータルびったりサービスに対して申請処理状況 （処理中、要再申請、完了、却下、取下げのステータス）を送信する場 合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170415	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住民記録システムに、住基情報の異動に伴い、住民の住基情報（個人番 号なし）を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170416	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住民記録システムに、住基情報の異動に伴い、住民の住基情報（個人番 号あり）を照会する。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170417	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住民記録システムに、抑止設定及び解除した住民の抑止情報を照会す る。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170418	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住民記録システムに、支援措置対象者情報を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170419	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	就学援助システムに、審査情報を照会する。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170420	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	校務支援システムに、児童生徒のクラス及び出席番号情報を照会する。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170421	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	申請管理機能に、マイナポータルから受け付けた申請情報を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170422	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	申請管理機能に、不就学、就学義務の猶予又は免除に関する情報を照会 する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170423	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	申請管理機能に、就学校変更に関する異動情報を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170424	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	申請管理機能に、区域外就学に伴う異動情報を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170425	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住登外者宛名番号等管理機能に、住登外者宛名番号を照会する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170427	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	就学事務システム（就学援助）（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第二条第一項に規定する標準化対象事務を定める政令に規定するデジタル庁令・総務省令で定める事務を定める命令第八条第一号に規定する事務のうち援助に関する事務の処理に係るシステムに必要とされる機能等に関する標準化基準を定める省令（令和8年文部科学省令第11号）第1条に規定する就学事務システム（就学援助）をいう。以下この表において同じ。）に、児童生徒情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170428	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	就学事務システム（就学援助）に、学校情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170429	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	就学事務システム（就学援助）に、学年情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170430	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	就学事務システム（就学援助）に、就学履歴情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170431	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	校務支援システムに、学齢簿情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170432	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	学校徴収金システムに、学齢簿情報を提供する。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170433	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	給食費管理システムに、学齢簿情報を提供する。	標準オプショ ン機能	標準オプション機 能	
0170434	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	住登外者宛名番号等管理機能へ、住登外者宛名基本情報を送信する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170435	7 共通	7.14 庁内 データ連 携		他基幹業務 システムと の連携	特別支援教育就学奨励費システムに、学齢簿情報を提供する。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170436	7 共通	7.15 住所 マスタ		住所マスタ	住民の住所については住民記録システムから取得すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170437	7 共通	7.15 住所 マスタ		住所マスタ	当該システムにおいて、住所登録が必要な場合は、住所マスタを保持すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170438	7 共通	7.16 保存 期間を経 過した情 報の削除		保存期間を 経過した情 報の削除	法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、標準準拠システムから物理削除できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	機能要件	指定都市 実装区分	一般市区町村 実装区分	適合基準日
0170439	7 共通	7.16 保存期間を経過した情報の削除		保存期間を経過した情報の削除	個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準拠システムからできるだけ速やかに削除できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170440	7 共通	7.16 保存期間を経過した情報の削除		保存期間を経過した情報の削除	保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170458	7 共通	7.17 その他		その他	教育委員会から行政区（区役所）に対するメッセージ送付機能を搭載できること。	実装必須機能	-	令和8年4月1日
0170388	8 エラー・アラート項目	8.1 エラー・アラート項目		エラー・アラート項目	論理的に成立し得ない入力その他の抑止すべき入力等は、エラーとして抑止すること。エラーは、当該内容で登録することを抑止することが目的であり、その実装方法として、エラーメッセージを表示し、次の画面に進めないようにすることも、エラーメッセージの表示によらず、そもそも入力不可とすることで対応することも差し支えない。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170389	8 エラー・アラート項目	8.1 エラー・アラート項目		エラー・アラート項目	論理的には成立するが特に注意を要する入力等は、アラートとして注意喚起すること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170390	8 エラー・アラート項目	8.1 エラー・アラート項目		エラー・アラート項目	画面から入力する時に必須入力項目は明示的であること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
0170391	8 エラー・アラート項目	8.1 エラー・アラート項目		エラー・アラート項目	エラー・アラートとする場合は、原因となったエラー・アラート項目と理由・対応方法を入力者に適切に伝えること。	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

※ 実装区分について、実装必須機能とは地方公共団体情報システムに必ず実装しなければならない機能、標準オプション機能とは地方公共団体情報システムに実装するか否かについて当該システムを開発する事業者が判断する機能、実装不可機能とは地方公共団体情報システムに実装してはならない機能のことをいう。一般市区町村実装区分で-と記載されている項目は対象外を指す。

別表第2（第2条第2項関係）

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170001	4.2 新規就学者登録	4.2.1 小学校就学予定者一覧		小学校就学予定者一覧	小学校就学予定者一覧について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の現住所 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170002	4.2 新規就学者登録	4.2.2 保護者情報チェック一覧表		保護者情報チェック一覧表	保護者情報チェック一覧表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の世帯番号 ・児童生徒の世帯主氏名 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170003	4.2 新規就学者登録	4.2.3 保護者警告チェックリスト		保護者警告チェックリスト	保護者警告チェックリストについて、保護者の自動判定が行えなかった児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の世帯番号 ・児童生徒の世帯主氏名 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170004	4.2 新規就学者登録	4.2.4 学齢簿記載事項異動通知書		学齢簿記載事項異動通知書	学齢簿記載事項異動通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。また、学齢簿変更届出年月日又は学齢簿変更年月日の範囲指定により一括出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170005	4.2 新規就学者登録	4.2.5 学齢簿異動者一覧		学齢簿異動者一覧	学齢簿異動者一覧について、学齢簿の異動(変更)を行った児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。また、児童生徒の学年と、学齢簿変更届出年月日又は学齢簿変更年月日の日付の範囲指定により、新旧それぞれの学校毎に出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の世帯番号 ・児童生徒の世帯主氏名 ・変更前の児童生徒氏名 ・変更前の児童生徒振り仮名（フリガナ） ・変更前の児童生徒の生年月日 ・変更前の児童生徒性別 ・変更前の児童生徒の住所 ・変更前の学校名 ・変更前の児童生徒の世帯主氏名 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ・変更前の保護者氏名 ・変更前の保護者振り仮名（フリガナ） ・変更前の保護者と児童生徒との関係 ○変更に関する情報を出力する場合 ・学齢簿変更届出年月日 ・学齢簿変更年月日 ・学齢簿変更事由 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170006	4.2 新規就学者登録	4.2.6 小学校入学者名簿		小学校入学者名簿	小学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとする。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の現住所 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○就学校変更に関する情報を出力する場合 ・就学校変更事由（区域外就学の場合は、区域外就学事由） ・就学校変更許可年月日（区域外就学の場合は、区域外就学許可年月日） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170068	4.2 新規就学者登録	4.2.6 小学校入学者名簿		小学校入学者名簿	小学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとする こと。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の現住所 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○就学校変更に関する情報を出力する場合 ・就学校変更開始年月日（区域外就学の場合は、区域外就学開始年月日） ・就学校変更終了年月日（区域外就学の場合は、区域外就学終了年月日） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	標準オプション機能	
0170007	4.3 学齢簿異動	4.3.1 転入学通知書		転入学通知書	転入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により個別出力できること（保護者宛、学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170008	4.3 学齢簿異動	4.3.2 編入学通知書		編入学通知書	編入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、学校長宛）。出力項目は、0170007の項と同様とすること。	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170009	4.3 学 齡簿異 動	4.3.3 同一人 リスト		同一人リスト	同一人リストについて、別表第1の0170139の項と同様の条件に該当する再転入 や帰化、住民登録外者から住民となった児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併 せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により登録済の情報と新しい情報の 2つのデータを出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒郵便番号 ・児童生徒の現住所 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ・保護者郵便番号 ・保護者の現住所 ・保護者の宛名番号	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170010	4.3 学 齢簿異 動	4.3.4 住基異 動者リ スト		住基異動者リスト	住基異動者リストについて、住民基本台帳に変更があった児童生徒又は保護者を対象に、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。また、外国籍を有する児童生徒又は保護者については、日本国籍を有する児童生徒又は保護者とは分けて出力することができること。出力項目は、以下のとおりとする こと。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の住民記録情報の異動事由、異動日、届出日 ・児童生徒の住所 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名 ・変更前の児童生徒氏名 ・変更前の児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の児童生徒の生年月日 ・変更前の児童生徒性別 ・変更前の児童生徒の住所 ・変更前の児童生徒の住民記録情報の続柄 ・変更前の指定小学校区 ・変更前の指定中学校区 ・変更前の児童生徒の世帯主氏名 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ・変更前の保護者氏名 ・変更前の保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の保護者と児童生徒との関係 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170011	4.3 学 齢簿異 動	4.3.4 住基異 動者リ スト		住基異動者リスト	住基異動者リストについて、住民基本台帳に変更があった身元引受人を対象に、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の住民記録情報の異動事由、異動日、届出日 ・児童生徒の住所 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名 ・変更前の児童生徒氏名 ・変更前の児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の児童生徒の生年月日 ・変更前の児童生徒性別 ・変更前の児童生徒の住所 ・変更前の児童生徒の住民記録情報の続柄 ・変更前の指定小学校区 ・変更前の指定中学校区 ・変更前の児童生徒の世帯主氏名 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ・変更前の保護者氏名 ・変更前の保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の保護者と児童生徒との関係 ○身元引受人情報を出力する場合 ・身元引受人氏名 ・身元引受人氏名の振り仮名（フリガナ） ・身元引受人住所 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	標準オプション機能	
0170012	4.3 学 齢簿異 動	4.3.5 就学義 務猶予 免除通 知書		就学義務猶予免除通知書	就学義務猶予免除通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170013	4.3 学 齢簿異 動	4.3.6 就学校 変更申 請書		就学校変更申請書	就学校変更申請書をXLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170014	4.3 学 齢簿異 動	4.3.7 就学校 変更許 可通知 書		就学校変更許可通知書	就学校変更許可通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170015	4.3 学 齢簿異 動	4.3.8 就学校 変更者 一覧		就学校変更者一覧	就学校変更者一覧について、就学校変更中の児童生徒及び就学校変更が満了した児童生徒を対象に、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○就学校変更に関する情報を出力する場合 ・指定小学校区又は指定中学校区 ・就学指定校名 ・就学校変更事由 ・就学校変更申請年月日 ・就学校変更許可年月日 ・就学校変更開始年月日 ・就学校変更終了年月日 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170016	4.3 学 齢簿異 動	4.3.9 区域外 就学者 一覧		区域外就学者一覧	区域外就学者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○区域外就学に関する情報を出力する場合 ・設置者名 ・区域外就学事由 ・区域外就学申請年月日 ・区域外就学許可年月日 ・区域外就学開始年月日 ・区域外就学終了年月日 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170017	4.3 学 齢簿異 動	4.3.10 区域外 就学申 請書		区域外就学申請書	区域外就学申請書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	標準オプション機能	
0170018	4.3 学 齢簿異 動	4.3.11 区域外 就学協 議書		区域外就学協議書	区域外就学協議書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	標準オプション機能	
0170019	4.3 学 齢簿異 動	4.3.12 区域外 就学承 諾書		区域外就学承諾書	区域外就学承諾書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	標準オプション機能	
0170020	4.3 学 齢簿異 動	4.3.13 区域外 就学許 可通知 書		区域外就学許可通知書	区域外就学許可通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること（保護者宛、新旧学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170021	4.3 学 齢簿異 動	4.3.14 中学校 入学者 名簿		中学校入学者名簿	中学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとする こと。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の現住所 ・出身小学校 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○就学校変更に関する情報を出力する場合 ・就学校変更事由（区域外就学の場合は、区域外就学事由） ・就学校変更許可年月日（区域外就学の場合は、区域外就学許可年月日） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170069	4.3 学 齢簿異 動	4.3.14 中学校 入学者 名簿		中学校入学者名簿	中学校入学者名簿について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとする こと。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○就学校変更に関する情報を出力する場合 ・就学校変更開始年月日（区域外就学の場合は、区域外就学開始年月日） ・就学校変更終了年月日（区域外就学の場合は、区域外就学終了年月日） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170022	4.3 学 齢簿異 動	4.3.15 原級留 置対象 者一覧		原級留置対象者一覧	原級留置対象者一覧について、学校毎に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○原級留置に関する情報を出力する場合 ・原級留置決定年月日 ・原級留置開始年月日 ・原級留置終了年月日 ・原級留置理由 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170065	4.3 学 齢簿異 動	4.3.16 学 齢 簿・住 基差異 チェッ クリ ス ト		学 齢 簿・住 基差異 チェッ クリ ス ト	学 齢 簿・住 基差異 チェッ クリ ス トについて、住民基本台帳と学 齢 簿で差異があつた児童生徒又は保護者を対象に、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・児童生徒の住民記録情報の続柄 ・児童生徒の住民記録情報の異動事由、異動日、届出日 ・児童生徒の住所 ・指定小学校区 ・指定中学校区 ・児童生徒の世帯主氏名 ・変更前の児童生徒氏名 ・変更前の児童生徒氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の児童生徒の生年月日 ・変更前の児童生徒性別 ・変更前の児童生徒の住所 ・変更前の児童生徒の住民記録情報の続柄 ・変更前の指定小学校区 ・変更前の指定中学校区 ・変更前の児童生徒の世帯主氏名 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ・変更前の保護者氏名 ・変更前の保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・変更前の保護者と児童生徒との関係 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170023	4.4 学 校の新 設・統 廃合	4.4.1 新設校 入学通 知書・ 廃校に 伴う入 学通知 書		新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書	新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170024	4.4 学校の新設・統廃合	4.4.2 新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書発送者一覧		新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書発送者一覧	新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170025	4.4 学校の新設・統廃合	4.4.3 各種通知書発送者文字切れリスト		各種通知書発送者文字切れリスト	各種通知書発送者文字切れリストについて、XLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○文字切れに関する情報を出力する場合 ・エラー内容 ・該当項目 ・オーバー字・内容 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170067	4.4 学校の新設・統廃合	4.4.4 学区・学校名更新結果一覧		学区・学校名更新結果一覧	学区・学校名更新結果一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○学区・学校名更新に関する情報を出力する場合 ・変更前後の指定学校区 ・変更前後の就学指定校名 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	標準オプション機能	
0170026	4.5 通知書等出力	4.5.1 入学予定通知書		入学予定通知書	入学予定通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（保護者宛、学校長宛）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170027	4.5 通知書等出力	4.5.2 入学予定通知書発送者一覧		入学予定通知書発送者一覧	入学予定通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170028	4.5 通知書等出力	4.5.3 学校選択制案内書		学校選択制案内書	学校選択制案内書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170029	4.5 通知書等出力	4.5.4 学校選択制案内書発送者一覧		学校選択制案内書発送者一覧	学校選択制案内書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170030	4.5 通知書等出力	4.5.5 学校選択制調査書（小学校）		学校選択制調査書（小学校）	学校選択制調査書（小学校）について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170031	4.5 通知書等出力	4.5.6 学校選択制調査書（中学校）		学校選択制調査書（中学校）	学校選択制調査書（中学校）について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170032	4.5 通知書等出力	4.5.7 健康診断通知書		健康診断通知書	健康診断通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A四判）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170066	4.5 通知書等出力	4.5.7 健康診断通知書		健康診断通知書	健康診断通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（葉書）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170033	4.5 通知書等出力	4.5.8 健康診断通知書発送者一覧		健康診断通知書発送者一覧	健康診断通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170034	4.5 通知書等出力	4.5.9 健康診断票		健康診断票	健康診断票について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。	標準オプション機能	
0170035	4.5 通知書等出力	4.5.10 健康診断予備調査票		健康診断予備調査票	健康診断予備調査票について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。	標準オプション機能	
0170036	4.5 通知書等出力	4.5.11 健康診断結果通知書		健康診断結果通知書	健康診断結果通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170037	4.5 通知書等出力	4.5.12 健康診断結果通知書発送者一覧		健康診断結果通知書発送者一覧	健康診断結果通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170038	4.5 通知書等出力	4.5.13 小学校入学通知書		小学校入学通知書	小学校入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A四判、葉書）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170039	4.5 通知書等出力	4.5.14 小学校入学通知書発送者一覧		小学校入学通知書発送者一覧	小学校入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170040	4.5 通知書等出力	4.5.15 中学校入学通知書		中学校入学通知書	中学校入学通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること（A四判、葉書）。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170041	4.5 通知書等出力	4.5.16 中学校入学通知書発送者一覧		中学校入学通知書発送者一覧	中学校入学通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170042	4.5 通知書等出力	4.5.17 就学校変更満了通知書		就学校変更満了通知書	就学校変更満了通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170043	4.5 通知書等出力	4.5.18 就学校変更満了通知書発送者一覧		就学校変更満了通知書発送者一覧	就学校変更満了通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170044	4.5 通知書等出力	4.5.19 区域外就学満了通知書		区域外就学満了通知書	区域外就学満了通知書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。 カスタマーバーコードを記載すること。 通知書タイトル及び通知文は、個別に設定できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170045	4.5 通知書等出力	4.5.20 区域外就学満了通知書発送者一覧		区域外就学満了通知書発送者一覧	区域外就学満了通知書発送者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170046	4.6 名簿出力	4.6.1 学齢簿（単票）		学齢簿（単票）	学齢簿（単票）を XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。出力項目は、別表第 1 の小項目1.1.1から1.1.9の項から出力できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170064	4.6 名簿出力	4.6.1 学齢簿（単票）		学齢簿（単票）	就学事務固有で設定された通称名の出力は任意とする。 外国籍を有する場合、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字を全て出力するか、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字の順に登録があるものを優先して出力（但し、氏名優先区分が設定されている場合は、その設定に従って出力）するかは任意とする。	標準オプション機能	
0170047	4.7 学齢簿情報出力	4.7.1 学齢簿情報（学齢簿の一覧情報）		学齢簿情報（学齢簿の一覧情報）	学齢簿情報をXLSX形式、CSV形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和 8 年デジタル庁・総務省令第 8 号）を参照のこと。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170048	4.8 成人式案内出力	4.8.1 成人式案内		成人式案内	成人式案内について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・カスタマーバーコード ・文書番号 ・発行年月日 ・認証者氏名 ・認証者職種 ・通知書タイトル ・案内文 ・成人式 開催日 ・成人式 開催場所 ・お問合せ先 名称 ・お問合せ先 住所 ・お問合せ先 電話番号	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170049	4.8 成人式案内出力	4.8.2 成人式案内送付一覧		成人式案内送付一覧	成人式案内送付一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	標準オプション機能	
0170050	4.9 運動会案内出力	4.9.1 運動会案内		運動会案内	運動会案内について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・カスタマーバーコード ・文書番号 ・発行年月日 ・認証者氏名 ・認証者職種 ・通知書タイトル ・案内文 ・児童生徒氏名 ・運動会 開催日 ・運動会 開催場所 ・お問合せ先 名称 ・お問合せ先 住所 ・お問合せ先 電話番号	標準オプション機能	

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170051	4.9 運動会案内出力	4.9.2 運動会案内送付一覧		運動会案内送付一覧	運動会案内送付一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者振り仮名（フリガナ）（保護者宛の場合） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	標準オプション機能	
0170052	4.10 統計	4.10.1 学区・地域別人口統計表		学区・地域別人口統計表	学区・地域別人口統計表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定小学校区又は指定中学校区 ・地域（自治会） ・児童生徒数（年齢・男女別） ・児童生徒数（合計）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170053	4.10 統計	4.10.2 学区・学校・地域別集計表（小学校）		学区・学校・地域別集計表（小学校）	学区・学校・地域別集計表（小学校）について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定小学校区 ・学校 ・地域（自治会） ・通常の学級児童生徒数（学年・男女別） ・通常の学級児童生徒数（合計） ・特別支援学級児童生徒数（学年・男女別） ・特別支援学級児童生徒数（合計） ・児童生徒数（学年・男女別） ・児童生徒数（合計）	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170054	4.10 統計	4.10.3 学区・学校・地域別集計表（中学校）		学区・学校・地域別集計表（中学校）	学区・学校・地域別集計表（中学校）について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定中学校区 ・学校 ・地域（自治会） ・通常の学級児童生徒数（学年・男女別） ・通常の学級児童生徒数（合計） ・特別支援学級児童生徒数（学年・男女別） ・特別支援学級児童生徒数（合計） ・児童生徒数（学年・男女別） ・児童生徒数（合計）	実装必須機能	令和8年4月1日
0170055	4.10 統計	4.10.4 教育人口等推計表		教育人口等推計表	教育人口等推計表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・指定小学校区又は指定中学校区 ・就学予定者数（年齢・男女別、小計） ・小学校児童数（学年・男女別、小計） ・中学校生徒数（学年・男女別、小計） ・児童生徒数（男女別、合計）	標準オプション機能	
0170056	4.11 支援措置対象・抑止対象	4.11.1 支援措置対象者一覧		支援措置対象者一覧	支援措置対象者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○支援措置対象者情報を出力する場合 ・支援措置対象者情報 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170057	4.11 支援措置対象・抑止対象	4.11.2 抑止対象者一覧		抑止対象者一覧	抑止対象者一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 ○抑止対象者情報を出力する場合 ・抑止対象者情報 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170058	4.12 不就学	4.12.1 日本人・外国人出入国記録照会書		日本人・外国人出入国記録照会書	日本人・外国人出入国記録照会書について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により一括出力及び個別出力できること。	実装必須機能	令和8年4月1日
0170059	4.12 不就学	4.12.2 日本人・外国人出入国記録照会書発送者一覧表		日本人・外国人出入国記録照会書発送者一覧表	日本人・外国人出入国記録照会書発送者一覧表について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・文書番号 ・発行年月日 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・学校名（学校宛の場合） ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・保護者氏名（保護者宛の場合） ・保護者氏名の振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係（保護者宛の場合） ・支援措置対象者である旨を示す情報（フラグ項目） 以下の項目を出力項目として追加できる。 ・通知書発行担当者 ・通知書発行回数 ・備考 ・児童生徒宛名番号 ・保護者の現住所（保護者宛の場合） ・保護者宛名番号（保護者宛の場合）	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170060	4.12 不就学	4.12.3 外国籍児童への就学案内		外国籍児童への就学案内	外国籍児童への就学案内について、XLSX形式、PDF形式又は直接印刷のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ・送付先郵便番号 ・送付先住所 ・送付先氏名 ・カスタマーバーコード ・文書番号 ・発行年月日 ・認証者氏名 ・認証者職種 ・通知書タイトル ・案内文 ・お問合せ先 名称 ・お問合せ先 住所 ・お問合せ先 電話番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170061	4.13 その他	4.13.1 学区別児童生徒一覧		学区別児童生徒一覧	学区別児童生徒一覧について、学区別に直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ・指定小学校区又は指定中学校区 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

帳票ID	大項目	中項目	小項目	機能名称	帳票要件	実装区分	適合基準日
0170062	4.13 その他	4.13.2 外国籍児童一覧		外国籍児童一覧	外国籍児童一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日
0170063	4.13 その他	4.13.3 外国籍生徒一覧		外国籍生徒一覧	外国籍生徒一覧について、直接印刷ができ、併せてXLSX形式又はCSV形式のいずれかの形式により出力できること。出力項目は、以下のとおりとすること。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒氏名 ・児童生徒振り仮名（フリガナ） ・児童生徒の生年月日 ・児童生徒性別 ・児童生徒国籍 ・学校名 ・学年 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者氏名 ・保護者振り仮名（フリガナ） ・保護者と児童生徒との関係 ・保護者国籍 以下の項目を出力項目として追加できる。 ○児童生徒情報を出力する場合 ・児童生徒宛名番号 ○保護者情報を出力する場合 ・保護者宛名番号	実装必須機能	令和8年4月1日

※ 実装区分について、実装必須機能とは地方公共団体情報システムに必ず実装しなければならない機能、標準オプション機能とは地方公共団体情報システムに実装するか否かについて当該システムを開発する事業者が判断する機能のことをいう。

別表第 3 （第 2 条第 2 項関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰 り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・ 西暦	左寄せ・ 右寄せ	文字溢れ の対応	記載が無い又は省略する場 合の表示	基本フォン トサイズ （ポイン ト）	最小フォント サイズ（ポイ ント）	その他編集条件
1	標準レイアウト （A 四判）	宛先（保護者）	送付先郵便番号を記載 郵便番号（「999-9999」形式）	1	無	全角	8	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2			送付先住所を記載	1	有	宛名住所型	17/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3			送付先氏名を記載	1	有	宛名氏名型	17/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
4			カスタマーバーコードを付す	－	－	バーコード	－	－	－	左	－	－	－	－	
5		宛先（学校長）	送付先氏名を記載	1	有	宛名氏名型	17/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		様式番号	教育委員会内で定めている様式番号がある場合に記載する	1	無	全角/半角	17	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		文書番号	印刷時に指定した内容を記載	1	無	全角/半角	22	IPAmj明朝	－	右	－	－	11	－	
8		発行年月日	印刷時に指定した内容を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	右	－	－	11	－	
9		公印	認証者氏名の右横 認証者職種、認証者氏名と重ならないように印字する	－	－	イメージ	－	－	－	－	－	－	－	－	
10		公印（省略）	公印を省略する場合は、認証者氏名の後に（公印省略）を印字する	1	無	全角	6	IPAmj明朝	－	中央	－	－	－	－	
11		公印（注釈）	公印の直下に任意の文言を印字する	1	無	全角	30	IPAmj明朝	－	右	－	－	8	－	
12		認証者職種	公印と重ならないように記載する	1	無	全角	13	IPAmj明朝	－	右	－	－	11	－	
13		認証者氏名	認証者職種の1行下、公印に寄せる 公印に重ならないように記載する	1	有	全角	7	IPAmj明朝	－	右	○	－	11	－	
14		通知書タイトル	マスター設定により文言は変更可能とする	1	無	全角	29	IPAmj明朝	－	中央	○	－	18	－	
15		三つ折り線 1	三つ折り線	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
16		三つ折り線 2	三つ折り線	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
17		お問い合わせ先	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
18	標準レイアウト （葉書）	宛先	送付先郵便番号を記載 郵便番号（「999-9999」形式）	1	無	全角	8	IPAmj明朝	－	左	－	－	9	－	
19			送付先住所	1	有	宛名住所型	24/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	9	－	
20			送付先氏名	1	有	宛名氏名型	24/2	IPAmj明朝	－	中央	－	－	9	－	
21			カスタマーバーコードを付す	－	－	バーコード	－	－	－	左	－	－	－	－	
22		お問い合わせ先	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	24/4	IPAmj明朝	－	中央	○	－	9	－	
23		文書番号	印刷時に指定した内容を記載	1	無	全角/半角	22	IPAmj明朝	－	右	－	－	9	－	
24		発行年月日	印刷時に指定した内容を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	右	－	－	9	－	
25		公印	認証者氏名の右横 認証者職種、認証者氏名と重ならないように印字する	－	－	イメージ	－	－	－	－	－	－	－	－	
26		公印（省略）	公印を省略する場合は、認証者氏名の後に（公印省略）を印字する	1	無	全角	6	IPAmj明朝	－	左	－	－	－	－	
27		公印（注釈）	公印の直下に任意の文言を印字する	1	無	全角	24	IPAmj明朝	－	右	－	－	6	－	
28		認証者職種	公印と重ならないように記載する	1	無	全角	13	IPAmj明朝	－	右	－	－	9	－	
29		認証者氏名	認証者職種の1行下、公印に寄せる 公印に重ならないように記載する	1	無	全角	7	IPAmj明朝	－	右	－	－	9	－	
30		通知書タイトル	マスター設定により文言は変更可能とする	1	無	全角	24	IPAmj明朝	－	中央	－	－	12	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白 （上）※	最低余白 （下）※	最低余白 （左）※	最低余白 （右）※	記載可能 人数	以下余白の 記載位置	複数枚の 跨り	○枚中○ 枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との 同時発行	別様式との同 時発行順
1	標準レイアウト （A 四判）	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－
2	標準レイアウト （葉書）	はがき	縦	5	5	5	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第4（第2条第2項第1号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学齢簿記載事項異動通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		（新）住所	異動後の児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		（新）氏名	異動後の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（新）保護者	異動後の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
7		（新）学校名	異動後の就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		（新）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
9		（旧）住所	異動前の児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
10		（旧）氏名	異動前の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
11		（旧）保護者	異動前の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
12		（旧）学校名	異動前の就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		（旧）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
14		届出	届出日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
15		異動	異動日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学齢簿記載事項異動通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第 5 （第 2 条第 2 項第 2 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	転入学通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		転学期日	異動前の学校転学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
7		前就学校	異動前の就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		（前就学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
9		転入期日	異動後の学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
10		転入学校	異動後の就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（転入学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
13		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	転入学通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第 6（第 2 条第 2 項第 3 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学義務猶予免除通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		許可期間	就学義務猶予開始年月日（就学義務免除開始年月日）から就学義務猶予終了年月日（就学義務免除終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		事由	就学義務猶予事由（就学義務免除事由）を記載	1	有	全角	38/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学義務猶予免除通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第 7（第 2 条第 2 項第 4 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更申請書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	申請先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		申請年月日	申請年月日を記載 申請年月日を記載しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名（申請者）	保護者氏名を記載 離婚後の共同親権者を併記することができる	1	有	本人氏名型	15/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		連絡先	保護者電話番号を記載 離婚後の共同親権者を併記することができる	1	無	全角	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日付けを出力しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
9		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
10		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
11		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
12		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
13		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
14		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
15		希望変更期間	就学校変更開始年月日から就学校変更終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
16		申請理由	就学校変更事由を記載 申請理由を出力しない場合は、基本データリスト（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和 8 年デジタル庁・総務省令第 8 号）第 2 条第 4 号に規定する基本データリストをいう。）に定義されているコード一覧を印字する	1	有	全角	38/7	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更申請書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第 8（第 2 条第 2 項第 5 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更許可通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2	区域外就学許可通知書	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載する	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
8		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		変更期間	就学校変更開始年月日（区域外就学開始年月日）から就学校変更終了年月日（区域外就学終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		申請理由	就学校変更事由（区域外就学事由）を記載	1	有	全角	38/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更許可通知書 区域外就学許可通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第 9 （第 2 条第 2 項第 6 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学申請書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	申請先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		申請年月日	申請年月日を記載 申請年月日を記載しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名（申請者）	保護者氏名を記載 離婚後の共同親権者を併記することができる	1	有	本人氏名型	15/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		連絡先	保護者電話番号を記載 離婚後の共同親権者を併記することができる	1	無	全角	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
9		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに変換可能とする	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
10		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
14		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
15		申請理由	区域外就学事由を記載 申請理由を出力しない場合は、基本データリスト（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和 8 年デジタル庁・総務省令第 8 号）第 2 条第 4 号に規定する基本データリストをいう。）に定義されているコード一覧を印字する	1	有	全角	38/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学申請書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第10（第2条第2項第7号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学協議書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	協議先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
4		生年月日	児童生徒の生年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
5		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
8		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		申請理由	区域外就学事由を記載	1	有	全角	38/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学協議書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第11（第2条第2項第8号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学承諾書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	認証者の教育委員会名を記載	1	有	全角	38/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
4		生年月日	児童生徒の生年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
5		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
8		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		申請理由	区域外就学事由を記載	1	有	全角	38/7	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学承諾書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第12（第2条第2項第9号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		入学校名	異動先の就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		学年	異動先の学年を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		入学期日	学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
8		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/9	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第13（第2条第2項第10号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	入学予定通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
5		就学予定校	就学予定校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/14	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	入学予定通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第14（第2条第2項第11号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学校選択制案内書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		指定校	就学指定校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		調査書提出期限	発行時に指定した期限を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
8		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/9	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学校選択制案内書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第15（第2条第2項第12号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学校選択制調査書（小学校）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2	学校選択制調査書（中学校）	児童生徒氏名	児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	2	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名	異動後の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
5		選択できる学校	マスター設定された学校を記載	1	有	全角	38/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		回答期限	印刷時に指定した内容を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学校選択制調査書（小学校） 学校選択制調査書（中学校）	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第16（第2条第2項第13号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	健康診断通知書（A四判）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		就学予定者	就学予定者の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	就学予定者の児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		健康診断実施日	健康診断実施日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
5		開始時間	健康診断の開始時間を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
6		受付時間	健康診断の受付開始時間を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		受付会場	健康診断の受付会場を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
9		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/10	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
10	健康診断通知書（葉書）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	9	－	
11		就学予定者	就学予定者の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	14/2	IPAmj明朝	－	中央	○	－	9	－	
12		生年月日	就学予定者の児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	中央	－	－	9	－	
13		健康診断実施日	健康診断実施日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	中央	－	－	9	－	
14		開始時間	健康診断の開始時間を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	9	－	
15		受付時間	健康診断の受付開始時間を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	－	中央	－	－	9	－	
16		受付会場	健康診断の受付会場を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	－	中央	－	－	9	－	
17		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/14	IPAmj明朝	－	左	－	－	9	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	健康診断通知書（A四判）	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－
2	健康診断通知書（葉書）	はがき	縦	5	5	5	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第17（第2条第2項第14号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	健康診断票	（就学予定者）氏名	児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載	1	無	本人氏名型	11	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
2		（就学予定者）生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載 生年月日を出力しない場合は「 年 月 日 生」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	12	－	
3		（就学予定者）性別	児童生徒性別を参照し、対象の性別に○を印字	1	無	全角	－	－	－	－	－	－	11	－	
4		（就学予定者）年齢	児童生徒年齢を記載	1	無	全角	4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
5		（就学予定者）現住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	20/4	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		健康診断年月日	健康診断年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	6	－	
7		（保護者）氏名	空欄	1	無	本人氏名型	7	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		（保護者）現住所	空欄	1	無	住所型	11/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
9		（保護者）就学予定者との関係	空欄	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	健康診断票	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第18（第2条第2項第15号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	健康診断予備調査票	就学予定者名	児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 振り仮名（フリガナ）は出力しない	1	有	本人氏名型	12/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
2		性別	児童生徒性別を参照し、対象の性別に○を印字	1	無	全角	1	IPAmj明朝	－	－	－	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載 生年月日を出力しない場合は「元号 年 月 日 生」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		保護者名	空欄	1	有	本人氏名型	15/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	全角	20/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	健康診断予備調査票	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第19（第2条第2項第16号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	健康診断結果通知書	幼児氏名	就学予定の児童生徒氏名を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	健康診断結果通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第20（第2条第2項第17号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	小学校入学通知書（A四判）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
2	中学校入学通知書（A四判）	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	—	—	11	—	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		入学校名	就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
7		入学期日	学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	—	—	11	—	
8		入学式日	入学式の日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	—	—	11	—	
9		開始時間	入学式開始時間を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	—	中央	—	—	11	—	
10		受付時間	入学式の受付開始時間を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
11		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
12		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
13	小学校入学通知書（葉書）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/2	IPAmj明朝	—	左	—	—	9	—	
14	中学校入学通知書（葉書）	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	14/2	IPAmj明朝	—	中央	○	—	9	—	
15		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	中央	—	—	9	—	
16		入学校名	就学学校名を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
17		入学期日	学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	中央	—	—	9	—	
18		入学式日	入学式の日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	中央	—	—	9	—	
19		開始時間	入学式開始時間を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
20		受付時間	入学式の受付開始時間を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
21		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/14	IPAmj明朝	—	左	—	—	9	—	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	小学校入学通知書（A四判） 中学校入学通知書（A四判）	A 4	縦	11	5	13	5	1	—	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	—
2	小学校入学通知書（葉書） 中学校入学通知書（葉書）	はがき	縦	5	5	5	5	1	—	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	—

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「—」を記入する。

別表第21（第2条第2項第18号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更満了通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2	区域外就学満了通知書	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する 離婚後の共同親権者が登録されている場合で、両方の親権者を帳票に記載する場合には、当該帳票の表を分割して表示することができる なお、両方の親権者を記載するか否かは、帳票ごとに選択可能とする	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	表を分割して表示する際は「桁数／行」は「19/2」とする
6		指定就学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		（指定就学校での）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
8		現在籍校	就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（現在籍校での）学年	現在の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		就学期間	就学校変更開始年月日（区域外就学開始年月日）から就学校変更終了年月日（区域外就学終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		転入学手続き期限	発行時に指定した期限を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
13		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更満了通知書 区域外就学満了通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第22（第 2 条第 2 項第19号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	外国人出入国照会書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		照会対象記録	外国人出入国記録（日本人の場合は日本人出帰国記録）を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		国籍	児童生徒国籍を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
4		氏名	児童生徒氏名を記載 重国籍の可能性がある場合は、外国籍氏名も英字で記載 漢字圏の外国人の場合は、漢字及び英字の両方の氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	全角	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 西暦で記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	西暦	左	－	－	11	－	
6		性別	児童生徒性別を記載	1	無	全角	1	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
7		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		在留カード番号 （特別永住者証明書番号）	在留カード等番号を記載	1	無	全角	12	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		父親 国籍	出力後に手書き又は保管入力にて記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	その他参考事項 照会対象児童生徒の身分事項が判然としない場合、両親の身分事項から照会対象児童生徒の身分事項が推測できる可能性があるため、可能な限り、両親の身分事項を記載する。
10		父親 氏名	〃	1	有	全角	38/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		父親 生年月日	〃	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	西暦	左	－	－	11	－	
12		母親 国籍	〃	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		母親 氏名	〃	1	有	全角	38/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
14		母親 生年月日	〃	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	西暦	左	－	－	11	－	
15		調査期間	調査開始から調査日前日までを記載する	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
16		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/7	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	外国人出入国照会書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

別表第23（第2条第3項関係）

項番	共通項目	表示形式	注意事項
1	本人氏名型	（日本人）氏＋△＋名＋△（カナ氏＋△＋カナ名） （外国人）英字氏名＋△＋漢字氏名	・（日本人）カナ氏名は、括弧を含め記載する ・カナを記載する欄が別枠となっている場合は、氏名とカナを分けて記載する ・（外国人）漢字氏名は英字氏名と区別がつくように、間に全角スペースをいれること ・外国人の場合、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字の順に登録があるものを優先して氏名とする 但し、氏名優先区分が設定されている場合は、その設定に従った氏名とする
2	住所型	都道府県名＋市区町村名＋字＋地番＋△＋方書	・方書は地番との区別がつくように間に全角スペースをいれること ・郡がある場合は郡名を含む
3	日付型	（和暦）元号９年９月９日 （西暦）１９９９年９月９日	・（和暦）元年は「１年」とせず、「元年」とすること ・（共通）年月日は全角数字とし、１桁の場合前に空白を設けないこと
4	宛名氏名型	氏名＋△様	・外国人の場合、通称名、外国人氏名漢字、外国人氏名英字の順に登録があるものを優先して氏名とする 但し、氏名優先区分が設定されている場合は、その設定に従った氏名とする ・別表第１の0170462の項の機能要件を採用した場合は、「児童生徒氏名＋△＋保護者＋△様」か「保護者氏名＋△様」のいずれかを選択できる。
5	宛名住所型	都道府県名＋市区町村名＋字＋地番＋△＋方書＋△＋宛名補記	
6	生年月日型	（日本人）（和暦）元号９年９月９日 （外国人）（西暦）１９９９年９月９日	・（外国人）西暦で記載すること

宛先
・保護者
・新旧学校長

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

学齡簿記載事項異動通知書

下記の通り学齡簿の記載事項に異動がありましたので通知します。

記

児童生徒氏名				
生年月日				
新	住所			
	氏名			
	保護者			
	学校名		学年	
旧	住所			
	氏名			
	保護者			
	学校名		学年	
備考	届出	異動		

お問い合わせ先

宛先

- ・保護者
- ・学校長

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

転入学通知書

学校教育法施行令第6条の規定により、下記の通り転入学に関するお知らせをいたします。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
住所			
保護者氏名			
転学期日			
前就学校		学年	
転入期日			
転入学校		学年	
備考			

- 下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。
- 1 他市町村の学校に入学される場合又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
 - 2 記載事項等に誤りがある場合又は入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
 - 3 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
 - 4 指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
 - 5 この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

お問い合わせ先

宛先

- ・保護者
- ・学校長

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

就学義務猶予免除通知書

下記の児童生徒に係る就学義務猶予・免除を決定したので通知します。

記

児童生徒氏名	
生年月日	
住所	
保護者氏名	
許可期間	
事由	
備考	

お問い合わせ先

就学校変更申請書

宛先

・教育委員会

保護者氏名
(申請者)

連絡先

下記児童・生徒について、次の理由により、指定学校の変更をお願いいたします。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所 (住民登録地)			
()住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
希望変更期間			
申請理由			

宛先

・保護者

・新旧学校長

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

就学校変更許可通知書

学校教育法施行令第8条の規定によって下記のとおり学区外就学に関するお知らせをいたします。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
変更期間			
申請理由			
備考			

お問い合わせ先

区域外就学申請書

宛先

・教育委員会

保護者氏名
(申請者)

連絡先

下記児童・生徒について、次の理由により、区域外就学の承認をお願い致します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所 (住民登録地)			
()住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
希望変更期間			
申請理由			

宛先

・教育委員会

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

区域外就学協議書

下記の区域外就学を承諾するに当たり、学校教育法施行令第9条第2項により協議します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所 (住民登録地)			
()住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
希望変更期間			
申請理由			

お問い合わせ先

宛先

・教育委員会

教育委員会

区域外就学承諾書

下記の区域外就学の協議について(同意 ・ 不同意)致します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所 (住民登録地)			
()住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
希望変更期間			
申請理由			

宛先

・保護者

・新旧学校長

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

区域外就学許可通知書

申請のあった区域外就学変更申請に対して審議した結果、下記の通り決定したので通知します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
現住所			
保護者氏名			
指定学校		学年	
希望就学校		学年	
変更期間			
申請理由			
備考			

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

新設校入学通知書・廃校に伴う入学通知書

次のとおり入学されるよう通知します。

記

児童生徒氏名	
生年月日	
住所	
入学校名	
学年	
入学期日	

- 下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。
- 1

他市町村の学校に入学される場合又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
- 2

記載事項等に誤りがある場合又は入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
- 3

病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
- 4

指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
- 5

この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

お問い合わせ先

宛先

・保護者

・学校長

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

入学予定通知書

来春、小学校入学予定児童の入学までの日程(予定)をお知らせします。

記

児童氏名	
生年月日	
保護者氏名	
就学予定校	

別紙「入学までの日程について」にて、来春、小学校入学予定児童の入学までの日程(予定)をお知らせします。

また、上記就学予定校を変更できる場合もありますので、指定学校変更が認められる基準等をご確認のうえ、問合せ先へご相談ください。

お問い合わせ先

宛先
・保護者

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

学校選択制案内書

〇〇市では、学校選択制「隣接校選択制及び特認校制」を実施しております。お子様の入学する学校は住所によって指定されておりますが、隣接校及び特認校を希望することができます。実施要領及び調査書を同封しておりますので、希望される場合は、締切日まで調査書をご提出くださいますようお願い致します。

記

児童生徒氏名	
生年月日	
住所	
保護者氏名	
指定校	
調査書提出期限	

隣接校及び特認校を希望される場合は、上記調査書提出期限までに学校選択制調査書を提出してください。
指定校に入学される場合は、学校選択制調査書の提出は不要です。

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

学校選択制調査書(小学校)

〇〇市では、小学校・中学校の入学時に学校を選択できる制度を実施しています。
お住いのブロックの中から小学校を選択していただきます。

記

児童氏名	
生年月日	
保護者氏名	
選択できる学校	
回答期限	

ご確認の上、小学校希望調査票を、上記回答期限までに返信用封筒にて返送してください。
希望理由欄は特色ある教育活動、教師の熱意・指導、落ち着いた学校の雰囲気、子どもの友人関係、地域との
つながり、通学の距離・安全、その他具体的内容をご記入ください。

小学校希望調査票

児童氏名	
生年月日	
希望校	
希望理由	

令和 年 月 日

保護者氏名
(申請者)

連絡先

宛先
・保護者

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

学校選択制調査書(中学校)

〇〇市では、小学校・中学校の入学時に学校を選択できる制度を実施しています。
お住いのブロックの中から中学校を選択していただきます。

記

生徒氏名	
生年月日	
保護者氏名	
選択できる学校	
回答期限	

ご確認の上、中学校希望調査票を、上記回答期限までに返信用封筒にて返送してください。
希望理由欄は特色ある教育活動、教師の熱意・指導、落ち着いた学校の雰囲気、子どもの友人関係、地域との
つながり、通学の距離・安全、その他具体的内容をご記入ください。

中学校希望調査票

生徒氏名	
生年月日	
希望校	
希望理由	

令和 年 月 日

保護者氏名
(申請者)

連絡先

宛先
・保護者

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

健康診断通知書

学校保健安全法第11条の規定により、就学時健康診断について下記の通り通知いたします。

記

就学予定者			
生年月日			
健康診断実施日		開始時間	
受付時間			
受付会場			
備考			

注意事項

- (1) 別紙「健康診断票」の太線枠内を確認・記入し、当日お持ちください。
- (2) 保護者又は保護者に代わる付き添いの人は、別紙に記入の上、健康診断の受付場所にご提出ください。
- (3) 当日は上履きをお持ちください。
- (4) この健康診断を受けるに当たって、特別な練習や準備はありません。
- (5) 都合により健康診断に行けない場合やその他ご相談がある方は、事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

注意事項

- (1) 別紙「健康診断票」の太線枠内を確認・記入し、当日お持ちください。
- (2) 保護者又は保護者に代わる付き添いの人は、別紙に記入の上、健康診断の受付場所にご提出ください。
- (3) 当日は上履きをお持ちください。
- (4) この健康診断を受けるに当たって、特別な練習や準備は必要ありません。
- (5) 都合により健康診断に行けない場合やその他ご相談がある方は、事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

健康診断通知書

学校保健安全法第11条の規定により、就学時健康診断について下記の通り通知いたします。

記

健康診断通知書

就学予定者	
生年月日	
健康診断 日時	
受付時間	
受付会場	

お問い合わせ先

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

健康に関する調査

就学予定者名	男・女	生 年 月 日	
保 護 者 名		住 所	

本
人
に
つ
い
て

(1) 生まれた時の様子や、乳幼児健康診査で指摘されたことなどがあれば記入してください。

(2) 予防接種等で、あてはまるものを○でかこんでください。

・ ジ フ テ リ ア (未・済)

・ 破 傷 風 (未・済)

・ 麻 し ん (未・済)

・ 日 本 脳 炎 (未・済)

・ 小 児 肺 炎 球 菌 (未・済)

・ 水 痘 (未・済)

・ お た ふ く か ぜ (未・済)

・ 百 日 咳 (未・済)

・ ポ リ オ (未・済)

・ 風 し ん (未・済)

・ 結 核 (B C G) (未・済)

・ インフルエンザ菌b型(Hib) (未・済)

・ B 型 肝 炎 (未・済)

(3) 今までにかかった病気があれば、番号を○でかこんでください。

1. は し か

4. 風 し ん

7. 食 物 ア レ ル ギ ー

10. ア レ ル ギ ー 性 結 膜 炎

13. 心 臓 病

16. そ の 他 (

2. 水 ぼ う そ う

5. ぜ ん そ く

8. ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎

11. 弱 視 ・ 斜 視

14. 腎 臓 病

15. 難 聴

3. お た ふ く か ぜ

6. 川 崎 病 (MCLS)

9. ア レ ル ギ ー 性 鼻 炎

12. 結 核

15. 難 聴

(4) よく起こる病気について記入してください。
(例えば、ひきつけ、ぜんそくの発作、扁桃炎など。)

(5) 現在、医師に診てもらっている病気があれば記入してください。

(6) 眼科や耳鼻科に関する項目で気になることがあれば、番号を○でかこんでください。

< 眼 科 > 1.目線がずれる 2.目を細めて見る 3.目やにがよく出る 4.色間違いをする

5.目をよくこする 6.その他(

< 耳 鼻 科 > 1.聞き返しが多い 2.鼻水・鼻づまりが多い 3.いびきをよくかく 4.発音がおかしい

5.その他(

(7) 体や心の健康及び性格・行動のことで、気になっていること、学校へ知らせておく方がよいと思われることがあれば記入してください。

検査等の際、配慮してほしいことがあればお知らせください。
(※初めての場所に不安を感じることもある、一度にたくさんの質問をすると答えられない、など)

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

就学時の健康診断結果のお知らせ

幼児氏名

就学時の健康診断結果を下記のとおり、お知らせいたします。

() 専門医の受診の必要はありません。

() 専門医の受診をお勧めします。

項目		健康診断結果	
		疾病、疾患又は異常の疑いがない項目 →専門医の受診の必要はありません	疾病、疾患又は異常の疑いがある項目 →専門医の受診をお勧めします。
内 科 的 疾 患			
栄 養 状 態 (栄養不良・肥満傾向)			
脊 柱 ・ 胸 郭			
皮 膚 疾 患			
視 力	右	A(1.0以上)	B(0.9～0.7) C(0.6～0.3)・D(0.3未満)
	左	A(1.0以上)	B(0.9～0.7) C(0.6～0.3)・D(0.3未満)
目の疾病及び異常			
聴 力	右		
	左		
耳 鼻 咽 喉 科 疾 患			
う 歯	乳歯		未処置数(本)
	永久歯		未処置数(本)
その他口腔の疾病 及 び 異 常			
そ の 他 の 疾 病 及 び 異 常			
備考		(予防接種を実施していない場合には、接種するよう記載)	

宛先
・保護者

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

小学校入学通知書

学校教育法施行令第5条の規定により、下記の通り入学に関するお知らせをいたします。

記

児童氏名			
生年月日			
住所			
保護者氏名			
入学校名			
入学期日			
入学式日		開始時間	
受付時間			
備考			

- 下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。
- 1 他市町村の学校に入学される場合又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
 - 2 記載事項等に誤りがある場合又は入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
 - 3 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
 - 4 指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
 - 5 この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。

小学校入学通知書

学校教育法施行令第5条の規定により、下記の通り入学に関するお知らせをいたします。

記

- 1 他市町村の学校に入学される場合
- 又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
- 2 記載事項等に誤りがある場合又はこの通知を受け取ってから入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
- 3 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
- 4 指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
- 5 この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

小学校入学通知書

お問い合わせ先

児童氏名	
生年月日	
入学校名	
入学期日	
入学式日時	
受付時間	

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

宛先
・保護者

文書番号・発行年月日
認証者職種・認証者氏名
公印・公印(省略)・公印(注釈)

中学校入学通知書

学校教育法施行令第5条の規定により、下記の通り入学に関するお知らせをいたします。

記

生徒氏名			
生年月日			
住所			
保護者氏名			
入学校名			
入学期日			
入学式日		開始時間	
受付時間			
備考			

- 下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。
- 1 他市町村の学校に入学される場合又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
 - 2 記載事項等に誤りがある場合又は入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
 - 3 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
 - 4 指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
 - 5 この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

下記のいずれかに該当する場合は、お問い合わせ先へご連絡ください。

中学校入学通知書

学校教育法施行令第5条の規定により、下記の通り入学に関するお知らせをいたします。

記

- 1 他市町村の学校に入学される場合
- 又は国立・都道府県立・私立の学校へ入学される場合
- 2 記載事項等に誤りがある場合又はこの通知を受け取ってから入学までの間に住所・氏名等の変更がある場合
- 3 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため、就学困難と思われる場合
- 4 指定された学校の変更について、学校教育法施行令第8条に規定する申立てを希望する場合
- 5 この決定に不服がある場合(別紙教示参照)

中学校入学通知書

お問い合わせ先

生徒氏名	
生年月日	
入学校名	
入学期日	
入学式日時	
受付時間	

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

就学校変更満了通知書

下記の指定外就学申請について許可期間が満了したことを通知します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
住所			
保護者氏名			
指定就学校		学年	
現在籍校		学年	
就学期間			
転入学手続き期限			
備考			

許可期間が満了となりましたので、上記転入学手続き期限までに転入学の手続きを行ってください。

お問い合わせ先

宛先

・保護者

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

区域外就学満了通知書

下記の区域外就学について許可期間が満了したことを通知します。

記

児童生徒氏名			
生年月日			
住所			
保護者氏名			
指定就学校		学年	
現在籍校		学年	
就学期間			
転入学手続き期限			
備考			

許可期間が満了となりましたので、上記転入学手続き期限までに居住地の教育委員会で転入学の手続きを行ってください。

お問い合わせ先

殿

文書番号・発行年月日

認証者職種・認証者氏名

公印・公印(省略)・公印(注釈)

照会書

当教育委員会は、学校教育法施行令(昭和28年政令第340号)第1条の規定による学齢簿等の編成を行っておりますが、下記学齢児童生徒の所在が不明となっており、当該学齢児童生徒の所在把握のために必要がありますので、下記児童生徒に係る出入(帰)国記録を調査の上、御回答くださるようお願いいたします。

記

照会対象記録

国籍

氏名

生年月日(西暦)

性別

住所

在留カード番号
(特別永住者証明書番号)

その他参考事項

父親	国籍	氏名	生年月日
母親	国籍	氏名	生年月日

調査期間(西暦)

添付物

住民票(外国人の場合)又は学齢簿(日本人の場合)の写し(学校教育法施行令第1条は照会の根拠法令ではないため、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第58号)第8条第2項第3号で規定する業務上の必要性(照会書上段に記載されている照会の理由)を示す根拠となる資料の添付が必要となる。照会文書の裏側と添付物の表側に割印を押印して一体の文書であることを示すこと。)

第26号様式(第2条第1項第27号関係)

〇〇第99999999号
令和〇年〇月〇〇日

〇〇 Year／ 〇 Month／ 〇〇 Day

999－9999
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇99－99
〇〇アパート〇〇号

〇〇 〇〇 様

〇〇市教育委員会
〇〇 〇〇

公印

To: Parents or guardians

〇〇CITY BOARD OF EDUCATION



※この通知書は、黒色の電子公印を使用しています。

日本の学校への入学案内

Guidance on Admission to Public Schools in Japan

日本の学校では4月1日より新学年となります。令和〇年4月よりあなたの家のお子さんが小学校に入学する年齢になります。
あなたのお子さんは〇〇市の学校に入学を希望されますか。
希望される場合は、10月に就学時健診を受診しなければなりませんので、〇〇市教育委員会学務課学務係に速やかにお越しいただき、就学願を書いて提出してください。

受付は〇月〇日までです。受付の際、お子さんのパスポートと外国人登録証または在留カードが必要となりますのでお持ちください。
なお、入学を迷っている場合も一度ご相談に来てください。希望されていても受付期間中に来ることができない方は〇〇課へ連絡してください。

また、外国人学校へ行くことが決まっている場合やお子さんが帰国している場合など、日本の学校に入学を希望しない場合は、市役所まで必ず連絡してください。

We would like to inform you that your child has reached the age, at which he/she can be admitted to a Japanese elementary school from April, 〇〇(the new school year in Japan starts on April 1).

Furthermore, newly-enrolling pupils must undergo a medical checkup this October. If you are willing to enroll your child at 〇〇 City’s public school, please appear at the Public Education Division before 〇 Month/〇Day(do not forget to bring your child’s passport and “Residence Card” or alien card).

However, if you intend to enroll your child to 〇〇 City’s public school but cannot make it during the period above, please consult with the Public Education Division.

お問い合わせ先
〇〇市教育委員会 学務課 学務係
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号(〇〇市役所〇階)
電話 99-999-9999

〇〇CITY BOARD OF EDUCATION Public Education Division
TEL 99-999-9999

附則別表第1（附則第2条第1号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学齢簿記載事項異動通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		（新）住所	異動後の児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		（新）氏名	異動後の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（新）保護者	異動後の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		（新）学校名	異動後の就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		（新）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
9		（旧）住所	異動前の児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
10		（旧）氏名	異動前の児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
11		（旧）保護者	異動前の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
12		（旧）学校名	異動前の就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		（旧）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
14		届出	届出日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
15		異動	異動日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学齢簿記載事項異動通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 2（附則第 2 条第 2 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	転入学通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		転学期日	異動前の学校転学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
7		前就学校	異動前の就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		（前就学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
9		転入期日	異動後の学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
10		転入学校	異動後の就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（転入学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
13		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	転入学通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 3（附則第 2 条第 3 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学義務猶予免除通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		許可期間	就学義務猶予開始年月日（就学義務免除開始年月日）から就学義務猶予終了年月日（就学義務免除終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		事由	就学義務猶予事由（就学義務免除事由）を記載	1	有	全角	38/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学義務猶予免除通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 4 （附則第 2 条第 4 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更申請書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	申請先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		申請年月日	申請年月日を記載 申請年月日を記載しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名（申請者）	保護者氏名を記載	1	有	本人氏名型	15/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		連絡先	保護者電話番号を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日付けを出力しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
8		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
9		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
10		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
11		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
12		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
13		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
14		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
15		希望変更期間	就学校変更開始年月日から就学校変更終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
16		申請理由	就学校変更事由を記載 申請理由を出力しない場合は、基本データリスト（地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第七条第一項に規定する各地方公共団体情報システムに共通する基準のうち電磁的記録において用いられる用語及び符号の相互運用性の確保その他の地方公共団体情報システムに係る互換性の確保に関する標準を定める命令（令和 8 年デジタル庁・総務省令第 8 号）第 2 条第 4 号に規定する基本データリストをいう。）に定義されているコード一覧を印字する	1	有	全角	38/7	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更申請書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 5（附則第 2 条第 5 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更許可通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2	区域外就学許可通知書	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載する	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
8		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		変更期間	就学校変更開始年月日（区域外就学開始年月日）から就学校変更終了年月日（区域外就学終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		申請理由	就学校変更事由（区域外就学事由）を記載	1	有	全角	38/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更許可通知書 区域外就学許可通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 6 （附則第 2 条第 6 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学申請書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/5	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	申請先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		申請年月日	申請年月日を記載 申請年月日を記載しない場合、「元号 年 月 日」を印字	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名（申請者）	保護者氏名を記載	1	有	本人氏名型	15/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		連絡先	保護者電話番号を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
9		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
10		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
14		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
15		申請理由	区域外就学事由を記載 申請理由を出力しない場合は、基本データリストに定義されているコード一覧を印字する	1	有	全角	38/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学申請書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	無	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 7（附則第 2 条第 7 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学協議書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	協議先の教育委員会名を記載	1	無	全角	19	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
4		生年月日	児童生徒の生年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
5		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		申請理由	区域外就学事由を記載	1	有	全角	38/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学協議書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 8 （附則第 2 条第 8 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	区域外就学承諾書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		宛先	認証者の教育委員会名を記載	1	有	全角	38/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
3		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
4		生年月日	児童生徒の生年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
5		現住所（住民登録地）	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		（ ）住所	区域外就学申請書で現住所と異なる異動前、異動後、預かり先等の区分の住所の記載がある場合、項目名には区分、住所には記載されている住所を記載	1	有	住所型	38/3	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
7		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
8		指定学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（指定学校）学年	異動前の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		希望就学校	希望就学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		（希望就学校）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	10	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
12		希望変更期間	区域外就学開始年月日から区域外就学終了年月日までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
13		申請理由	区域外就学事由を記載	1	有	全角	38/7	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	区域外就学承諾書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	無	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第 9（附則第 2 条第 9 号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	入学予定通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		就学予定校	就学予定校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/14	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	入学予定通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第10（附則第 2 条第10号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学校選択制案内書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		指定校	就学指定校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		調査書提出期限	発行時に指定した期限を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
8		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/9	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学校選択制案内書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第11（附則第2条第11号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	学校選択制調査書（小学校） 学校選択制調査書（中学校）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2		児童生徒氏名	児童生徒氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	2	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		保護者氏名	異動後の保護者氏名を記載 日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		選択できる学校	マスター設定された学校を記載	1	有	全角	38/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
6		回答期限	印刷時に指定した内容を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	学校選択制調査書（小学校） 学校選択制調査書（中学校）	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。

附則別表第12（附則第 2 条第12号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	小学校入学通知書（A四判）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
2	中学校入学通知書（A四判）	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	—	—	11	—	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	—	左	○	—	11	—	
6		入学校名	就学学校名を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
7		入学期日	学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	—	—	11	—	
8		入学式日	入学式の日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	—	—	11	—	
9		開始時間	入学式開始時間を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	—	中央	—	—	11	—	
10		受付時間	入学式の受付開始時間を記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
11		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
12		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/6	IPAmj明朝	—	左	—	—	11	—	
13	小学校入学通知書（葉書）	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/2	IPAmj明朝	—	左	—	—	9	—	
14	中学校入学通知書（葉書）	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	無	本人氏名型	14/2	IPAmj明朝	—	中央	○	—	9	—	
15		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	中央	—	—	9	—	
16		入学校名	就学学校名を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
17		入学期日	学校入学年月日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	中央	—	—	9	—	
18		入学式日	入学式の日を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	中央	—	—	9	—	
19		開始時間	入学式開始時間を記載	1	無	全角	11	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
20		受付時間	入学式の受付開始時間を記載	1	無	全角	14	IPAmj明朝	—	中央	—	—	9	—	
21		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	28/14	IPAmj明朝	—	左	—	—	9	—	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	小学校入学通知書（A四判） 中学校入学通知書（A四判）	A 4	縦	11	5	13	5	1	—	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	—
2	小学校入学通知書（葉書） 中学校入学通知書（葉書）	はがき	縦	5	5	5	5	1	—	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	—

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「—」を記入する。

附則別表第13（附則第 2 条第13号関係）

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数／行※	文字コード	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	記載が無い又は省略する場合の表示	基本フォントサイズ（ポイント）	最小フォントサイズ（ポイント）	その他編集条件
1	就学校変更満了通知書	通知文	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
2	区域外就学満了通知書	児童生徒氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
3		生年月日	児童生徒の生年月日を記載 日本人の場合【生年月日型（日本人）】、外国人の場合【生年月日型（外国人）】を記載、不詳の場合はその旨を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦／西暦	左	－	－	11	－	
4		住所	児童生徒の現住所を記載	1	有	住所型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
5		保護者氏名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力する	1	有	本人氏名型	38/2	IPAmj明朝	－	左	○	－	11	－	
6		指定就学校	就学指定校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
7		（指定就学校での）学年	異動後の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
8		現在籍校	就学学校名を記載	1	有	全角	19/2	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
9		（現在籍校での）学年	現在の学年を記載	1	無	全角	5	IPAmj明朝	－	中央	－	－	11	－	
10		就学期間	就学校変更開始年月日（区域外就学開始年月日）から就学校変更終了年月日（区域外就学終了年月日）までを記載	1	無	全角	38	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	
11		転入学手続き期限	発行時に指定した期限を記載	1	無	日付型	11	IPAmj明朝	和暦	左	－	－	11	－	
12		備考	「備考」の文字は削除可能とする マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/3	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	※「桁数／行」列に記載の行は、「備考」の出力行を含む
13		特記事項	マスター設定により文言は変更可能とする	1	有	全角	45/4	IPAmj明朝	－	左	－	－	11	－	

※：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上）※	最低余白（下）※	最低余白（左）※	最低余白（右）※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学校変更満了通知書 区域外就学満了通知書	A 4	縦	11	5	13	5	1	－	無	無	有	有	無	個人	規定しない	無	－

※：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。